

福祉情報誌

編集/社会福祉法人AJU自立の家
福祉情報誌発行委員会
発行/AJU車いすセンター
AJU自立生活情報センター

連絡先/〒466-0015
名古屋市昭和区御器所通3-12-1
AJUリサイクル相談事業部内
TEL (052)851-0059
FAX (052)851-0159

暮らしに役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

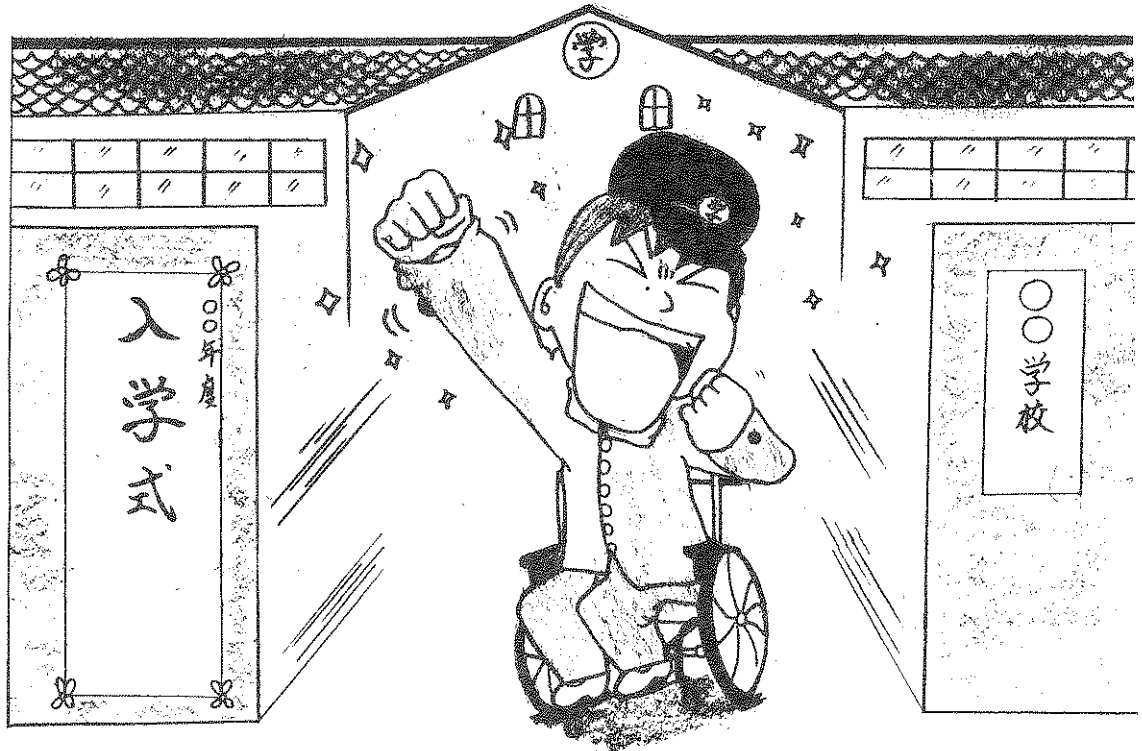
平成17年04月26日(火) 通刊6695号 AJU自立の家
昭和54年8月10日 第三種郵便物許可
発行所/東海身体障害者団体定期刊行物発行協会
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター4F

AJU自立の家

第75号
2005年4月10日号
定価**250円**

テーマ

あなたの声に こたえます。



絵 平良 隆志

はじめの一步をふみだしたあなたへ

- | | |
|--|--|
| ● 制度情報 1
「動きの多い福祉制度情報3」 | ● かつきのページ 28 |
| ● 活動・ひと紹介 7
自立生活センター生活塾 | ● グルメな調査隊 第38弾 29 |
| ● あなたの声に応えます 12
排泄障害でお悩みの方へ | ● 福祉用具のリサイクル情報 30 |
| ● そらいろ探邸団 15
昭和区の井上邸 | ● 読者の声 31 |
| ● トラベル情報 18
知佳と薫の初めての海外～ハワイ～ | ● いろいろ情報 33
「名大祭ツアーへのお誘い」
「サンシャインサカエ」
「冊子の紹介」 |
| ● マッチのコーナー 22
「小島家ウルルンタイ在記(後編)」 | |
| ● さつきの突撃体験レポート 25
春の定番!いちご狩り | |

「どうなってるの？」

動きの多い福祉制度情報 3

今回は、「障害者自立支援法」とは具体的にはいったいどんなものなのか？
今私たちはどう動くべきなのかについて皆さんと考えていきたいと思います。

Q:「障害者自立支援法」って？

A:以下、障害者自立支援法案の「概要」の全文を紹介します。本当は「法案」か「法案要綱」を掲載したいのですが、量がすごく多くて本誌掲載は困難です。でも、ぜひ読んで欲しいと思います。下記ホームページから見る事ができます。

★厚生労働省のページ

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2005/02/tp0214-1.html>

もちろん法案ですから難しいことが書いてあります。私はなかなか理解できなくて目もチカチカしてきました…。そこで、私は、いろいろな団体の見解や解説をよみながら、実際法案にはどう書いてあるのかな？と確認しつつ読み進めることにしました。そうすると、何が事実で、どんな心配があるかが見えてきました。下記に私が参考にしたいいくつかの団体が出している「法案に対する見解」のホームページをお知らせします。また、ホームページを見る事ができない方は編集部までご相談下さい。

TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159

★「障害者の地域生活確立の実現を求める全国大行動」実行委員会の見解

<http://www.j-il.jp/jil.files/daikoudou/gdtext.doc>

★DPI日本会議の見解

<http://www.dpi-japan.org/3issues/3-1shienhi/gd04/gd02.htm>

★日本障害者協議会の見解

http://www.jdnet.gr.jp/JDWebLetter/2004/20050107_2.htm

★社会福祉法人日本身体障害者団体連合会の見解

<http://www.nissinren.or.jp/news/gn20041125news1.htm>

★財団法人 全国精神障害者家族会連合会の見解

<http://www.zenkaren.or.jp/zenkaren/topic/20041129/02.html>

★社会福祉法人 全日本手をつなぐ育成会の見解

http://www1.odn.ne.jp/ikuseikai/2004/sokuhou/041124kenkai_teigen.html

★きょうされん（旧称：共同作業所全国連絡会）の見解

http://www.kyosaren.or.jp/news/2005/0126_1.htm

障害者自立支援法案の概要

障害者の地域生活と就労を進め、自立を支援する観点から、これまで障害種別ごとに異なる法律に基づいて自立支援の観点から提供されてきた福祉サービス、公費負担医療等について、共通の制度の下で一元的に提供する仕組みを創設することとし、自立支援給付の対象者、内容、手続き等、地域生活支援事業、サービスの整備のための計画の作成、費用の負担等を定めるとともに、精神保健福祉法等の関係法律について所要の改正を行う。

1 障害者自立支援法による改革のねらい

1 障害者の福祉サービスを「一元化」

（サービス提供主体を市町村に一元化。障害の種類（身体障害、知的障害、精神障害）にかかわらず障害者の自立支援を目的とした共通の福祉サービスは共通の制度により提供。）

2 障害者がもっと「働ける社会」に

（一般就労へ移行することを目的とした事業を創設するなど、働く意欲と能力のある障害

者が企業等で働けるよう、福祉側から支援。)

3 地域の限られた社会資源を活用できるよう「規制緩和」

(市町村が地域の実情に応じて障害者福祉に取り組み、障害者が身近なところでサービスが利用できるよう、空き教室や空き店舗の活用も視野に入れて規制を緩和する。)

4 公平なサービス利用のための「手続きや基準の透明化、明確化」

(支援の必要度合いに応じてサービスが公平に利用できるよう、利用に関する手続きや基準を透明化、明確化する。)

5 増大する福祉サービス等の費用を皆で負担し支え合う仕組みの強化

(1) 利用したサービスの量や所得に応じた「公平な負担」

(障害者が福祉サービス等を利用した場合に、食費等の実費負担や利用したサービスの量等や所得に応じた公平な利用者負担を求める。この場合、適切な経過措置を設ける。)

(2) 国の「財政責任の明確化」

(福祉サービス等の費用について、これまで国が補助する仕組みであった在宅サービスも含め、国が義務的に負担する仕組みに改める。)

2 法案の概要

(1) 給付の対象者

- ・ 身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児

(2) 給付の内容

- ・ ホームヘルプサービス、ショートステイ、入所施設等の介護給付費及び自立訓練（リハビリ等）、就労移行支援等の訓練等給付費（障害福祉サービス）
- ・ 心身の障害の状態の軽減を図る等のための自立支援医療（公費負担医療）等

(3) 給付の手続き

- ・ 給付を受けるためには、障害者又は障害児の保護者は市町村等に申請を行い、市町村等

の支給決定等を受ける必要があること。

- ・ 障害福祉サービスの必要性を明らかにするため、市町村に置かれる審査会の審査及び判定に基づき、市町村が行う障害程度区分の認定を受けること。

- ・ 障害者等が障害福祉サービスを利用した場合に、市町村はその費用の100分の90を支給すること。（残りは利用者の負担。利用者が負担することとなる額については、所得等に応じて上限を設ける。）

(4) 地域生活支援事業

- ・ 市町村又は都道府県が行う障害者等の自立支援のための事業（相談支援、移動支援、日常生活用具、手話通訳等の派遣、地域活動支援等）に関すること。

(5) 障害福祉計画

- ・ 国の定める基本指針に即して、市町村及び都道府県は、障害福祉サービスや地域生活支援事業等の提供体制の確保に関する計画（障害福祉計画）を定めること。

(6) 費用負担

- ・ 市町村は、市町村の行う自立支援給付の支給に要する費用を支弁すること。
- ・ 都道府県は、市町村の行う自立支援給付の支給に要する費用の四分の一を負担すること。
- ・ 国は、市町村の行う自立支援給付の支給に要する費用の二分の一を負担すること。
- ・ その他地域生活支援事業に要する費用に対する補助に関する事項等を定めること。

(7) その他

- ・ 附則において利用者負担を含む経過措置を設ける。
- ・ 附則において精神保健福祉法をはじめとする関係法律について所要の改正を行う。

3 施行期日

- 利用者負担の見直しに関する事項のうち自立支援医療（公費負担医療）にかかるもの
平成17年10月

- 新たな利用手続き、国等の負担（義務的負担化）に関する事項、利用者負担の見直しに関する事項のうち障害福祉サービスにかかるもの等 平成18年1月
- 新たな施設・事業体系への移行に関する事項等 平成18年10月

Q: 給付(サービス)内容にある「介護給付費」及び「訓練等給付費」って何を指すの？

●介護給付費には、以下のサービスが入っています。

- ・ 居宅介護（ホームヘルプ）
- ・ 重度訪問介護（日常生活支援）
- ・ 行動援護（主に重度の知的・精神障害者が対象、行動する際の危険を回避するための援護、外出時の介護など）
- ・ 療養介護（医療が必要で常時介助が必要な人に対する主に昼間の施設での支援）
- ・ 生活介護（常時介助が必要な人に対する主に昼間の施設での支援、デイサービス）
- ・ 児童デイサービス
- ・ 短期入所（ショートステイ）
- ・ 重度障害者等包括支援（ALSなど極めて重度の障害者の在宅支援など）
- ・ 共同生活介護（ケアホーム）
- ・ 施設入所支援（主に夜間の施設での支援）

●訓練等給付には、

- ・ 自立訓練（機能訓練・生活訓練）
- ・ 就労移行支援
- ・ 就労継続支援
- ・ 共同生活援助（グループホーム）

これまでの「在宅サービス」と「施設サービス」を上記のように組み替えたようです。

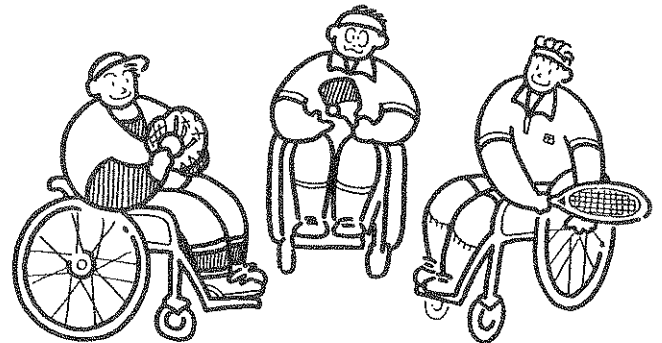


Q: ガイドヘルプサービスがないけれど、なくなるの？

A: 対象者によりサービスが分かれています。「重度訪問介護」（今の日常生活支援に当たる）で、重度の要介護状態にあつて、かつ、四肢マヒのある身体障害のある



人は外出介助を含むことになっています。また、新設された「行動援護」では、主に重度の知的・精神障害のある方は、行動する際の危険を回避するための援護、外出時の介護として利用できます。その他の人は、「地域生活支援事業」の中に書いてある「移動支援」でサービスを提供するようです。



Q: 「地域生活支援事業」? 「介護給付費」や「訓練等給付費」とどう違うの??

A: 「介護給付費」や「訓練等給付費」は、「自立支援給付」という区分になっていて、このサービスに関わる予算は、必ず支出しなければならない“義務的経費”となるので、決まった予算を超えてしまった場合も国が補助を出します。予算がもうないからサービスを提供できませんなんて事はなくなるすばらしい仕組みです。(*1)一方、「地域生活支援事業」は“裁量的経費”の位置づけとなり、行政が委託した団体でしか事業ができなくなり、予算を超える利用があつても今まで通りで補助はつきません。今のようにたくさんある事業所から選べず、市

が委託した所しか使えないという、支援費制度の前の体制に戻るとことになります。

(*1)障害をその程度によって3つに分け、それぞれの区分ごとに標準的な費用額（まだ発表されていない）をかけて、合計した金額が国が負担する上限額となる。つまり、この上限を超えた分に関しては、国はお金をださないということ。標準的な費用の額がいくらになるのか。これが大問題です。

Q:審査や判定とあるけれど、何がどう変わるの？

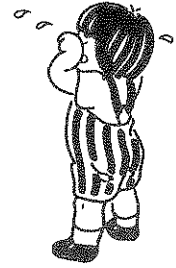
A:これまでは、本人（または代理人）が役所の担当者と話をして、障害のある人が希望する生活の仕方を確認して、行政が支給量を決めていましたが、18年の1月からは、障害程度の区分ができて、その認定を行うための調査（厚生労働省が決めた項目）をまず行い、その後、市町村審査会（これから新たに作られる）が判定を行うこととなります。介護保険と同じような仕組み。区分とその支給量がどうなるのか？審査会が理解のある委員で構成されるかが鍵です。

Q:サービスを利用した場合に、市町村はその費用の100分の90を支給すること、残りは利用者の負担って？

A:「費用の残りの1割は利用者が自己負担して下さい。」ということ。えっっ！と驚きますよね！これは応益負担という、利用したら一律に1割を払うという介護保険の自己負担の方法と同じです。皆さん今自分がいくらサービスを利用しているかご存じですか？30分以上1時間未満の「身体介護」を1回利用した場合の自己負担は、402円となるのです。



Q:収入は年金だけなのに、とても払えないよ！どうしたらいいの？



A:所得の低い人の場合は、支払額の上限が設定されるようです。でも、ホツトしてはいられません。その負担額は、所得によって決められるのですが、それがなんと、同居している家族の収入も考慮されるのです。ついこの前支援費制度で、親や兄弟の扶養義務が無くなったばかりなのに、また逆戻りです。しかも、生計中心者だけではなく、世帯の全員の所得が影響するのです。信じがたい話です。闘うしかありません！

以下、第22回社会保障審議会障害者部会（16年12月14日）の資料より。

○ 一般	40,200円/月
○ 負担能力の乏しい者	
・ 生活保護世帯	負担なし
・ 市町村民税非課税Ⅰ	15,000円/月
・ 市町村民税非課税Ⅱ	24,600円/月

※市町村民税非課税Ⅰ：市町村民税非課税世帯であつて世帯主及び世帯員のいずれも各所得がゼロであり、かつ、世帯主及び世帯員のいずれも収入が80万円（障害者基礎年金2級相当）未満である世帯に属する者

※市町村民税非課税Ⅱ：世帯主及び世帯員の全員が市町村民税の均等割非課税である世帯に属する者 → 税制上の障害者控除や障害年金が非課税所得であること等から、通常の市町村民税非課税世帯よりは実収入水準は高くなる。障害者を含む3人世帯で障害基礎年金1級を受給している場合概ね300万円以下の収入に相当。

Q:両親とも会社勤めです。そうすると私がサービスを利用した場合の負担額は？

A:基本的に利用したサービスの1割負担です。収入のある家族と生活している人の多くは、月に40,200円が上限なので、最大の負担額は40,200円です。これまで自分の収入によって計算された負担額はゼロだった人には大きい負担となります。



生活保護を利用している人はこれまで通り負担はありません。ただ、年金収入で生活している人は、2級の年金の人で市町村民税非課税Ⅰに当たる人は自己負担の上限が月に15,000円、1級年金の人で市町村民税非課税Ⅱに当たる人は月に24,600円となります。一応、年金で生活している人で、もっと低い月額負担を上限にすれば生活保護を利用しなくても今の生活を続けられる人には、申請すれば特別の減額をするようですか、その際、預金調査をするかもしれないそうです。もちろん貯金があれば減免されないでしょう。…みなさん、怒りがこみ上げてきますよね。じっとしてはいられません！

Q:「自立支援医療」って何？医療費の助成も変わってしまうの？

A:これまでの公費負担医療と呼ばれていた「精神通院医療」、「更正医療（18歳以上の身体障害者）」、「育成医療（18歳未満の障害児）」を「自立支援医療」としてまとめて、やはり、医療費も応益負担（一律1割の自己負担）とする

方向です。また、入院時の食費も標準負担額を負担することになります。一応、所得による負担額の上限や経過措置が提案されていますが、現在5%の自己負担ですんでいた精神に障害のある人たちの負担はこれまでの倍の1割(10%)にあがります。

Q:いつまでに、何から見直されていくの？

A:下記のとおりです。

17年 5月中	法案の審議が始まり、「障害者程度区分」、「利用者負担素案」が提示される
6月頃	採決される（予想）
8,9月頃	政令・省令公布
10月	「自立支援医療（公費負担医療）」の利用者負担開始／障害者程度区分認定・審査マニュアル等の確定
18年 1月	1割の利用者負担の開始／障害者区分認定開始
10月	新たな支給決定の完全実施

*21年度見直し予定

Q:今、どう動いたらいいの？

A:「障害者自立支援法案」が成立すると何がどう困るか、何が問題か、どうあるべきかなどについて、世の中に訴えていく必要があります。これから国会で審議に加わるであろう議員さんに問題点を理解してもらうこと、マスコミに訴え、市民も巻き込み問題点を議論していくこと、世論を喚起していくしかありません。本誌発行母体のAJU自立の家も行動を共にしている「障害者の地域生活確立の実現を求める全国大行動」実行委員会は、下記の動きをしています。

★国会議員を交えた勉強会やシンポジウムなどの開催。下記ページで全国の予定が分かります。

http://www.j-il.jp/jil.files/daikoudou/sinpo/kokkai_simp.html

★地方議員への働きかけ

下記ページでどの地域の誰へのアプローチが終わっているか確認できます。まだ名前のない議員さんにはアプローチが必要です。

http://www.j-il.jp/jil.files/daikoudou/gin_work/map_gin.html

★各自治体への働きかけ

下記ページで、すでに「障害者自立支援法」に関する意見書を提出した地方自治体が分かります。まだの地域は頑張る必要があります。

http://www.j-il.jp/jil.files/daikoudou/ikensyo/ikensyo_top.html

★学習会の開催

下記ページで、各地でのグランドデザイン学習会開催の情報がみれます。

http://www.j-il.jp/jil.files/daikoudou/gakushuukai/kaisaijyokyo_gd.html

4月中に予定されている動き 障害者自立支援法

適正審議のためのシンポジウムin東北

日 時：4月25日（月）13:30～16:00

場 所：サッポロビール仙台工場ホール
（宮城県名取市、JR名取駅西口すぐ）

開催主旨：障害者施策が大きく変わる法律が国会審議されようとしている中で、障害当事者にとって本当の意味で実効性のある法律にしていくために、国会議員の理解が必要です。国会議員を招いてのシンポジウムを開催いたします。

<コーディネーター>

佐藤 聡(メインストリーム協会)

<パネラー> 各党国会議員

(自民、民主、共産党より出席予定)

■主催 支援費制度緊急行動宮城委員会

■問合せ先 C I L たすけっと T I J

TEL・FAX 022-743-8487

E-MAIL: cil-tasuketto@k6.dion.ne.jp



緊急シンポジウム

障害者自立支援法で何が変わる？

～ 政治の舞台に障害当事者の声を

日 時：4月30日（土）13:30～16:30

場 所：足立区役所 庁舎ホール

内 容：

<基調報告>

尾上浩二氏（DPI日本会議事務局長）

<議員挨拶>（以下、予定）

自民党議員、民主党議員、共産党議員、社民党議員

<シンポジウム(会場からの質疑)>

参加議員、尾上氏、PA足立事務局長

■主催：障害者自立支援法を考えるフォーラムin東京・実行委員会／障害者パーソナルアシスタント足立

■問合せ先：パーソナルアシスタント足立(あだち)

E-mail: paadachi@khaki.plala.or.jp TEL03-3849-3741

各地のグランドデザイン学習会

● 4/26（火） 埼玉県熊谷市立障害福祉会館

講師：山本創（難病の会）

主催：自立生活センター遊 TO ピア

連絡：TEL 048-526-6760

● 6/24（金） 千葉県船橋女性センター

講師：尾上浩二（DPI日本会議）

主催：船橋障害者自立生活センター

連絡：TEL 047-432-4554（担当石栗）

● 4/23（土） 静岡県浜松市福祉交流センター

講師：塚田 芳昭（ヒューマンケア協会）

主催：浜松自立支援センター 担当：岡本

連絡：TEL 050-3422-4704 FAX 053-467-0444

● 4/23（土） 滋賀県草津まちづくりセンター

講師：佐藤聡（メインストリーム協会）

主催：滋賀自立生活センター

連絡：TEL 077-565-9022

● 4/29（祝） 島根県松江テルサ（松江駅北口）

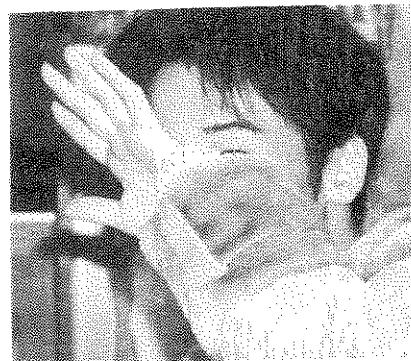
講師：佐藤聡（メインストリーム協会）

主催：自立生活センター松江

連絡：TEL 0852-25-3372 FAX:0852-25-3374

自立生活センター生活塾

くらくらです！今回は、昨年名古屋市西区に開設された「自立生活センター生活塾」取材し、事務局長の加古さんにインタビューしてきました。「生活塾」には養護学校生たちがたくさん来ていると聞き、もう、ノリノリで行って来ました！というのは、自分の障害（脳性まひによる四肢けい性まひで、移動は独歩ですが動作がゆっくり）を悲観してもがき苦しんでいた大学生の時、AJU自立の家（本誌の発行母体）主催の養護学校の高校生向け体験実習を手伝って自分自身がとても元気をもらった経験があるからです。取材当日は、ちょうどイベントの準備中で、みんなホントにいきいきと活動していました！！動していました！！

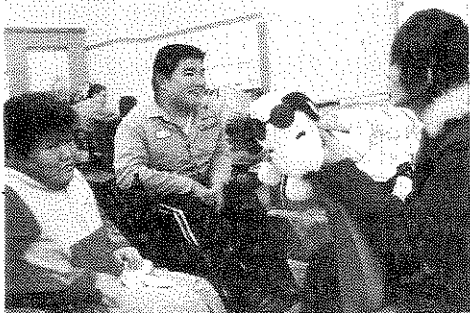


まずは、 ～自立生活センターとは～

障害のある人の、障害のある人による、障害のある人のための組織・団体です。詳しく言うと、自立したい障害を持つ人や高齢者などへ、障害者自身が“主体”となった運営によりサービスを提供し、障害のある人たちの“自立”と“自立生活”をサポートするところです。

Q:この団体を立ち上げたきっかけは？

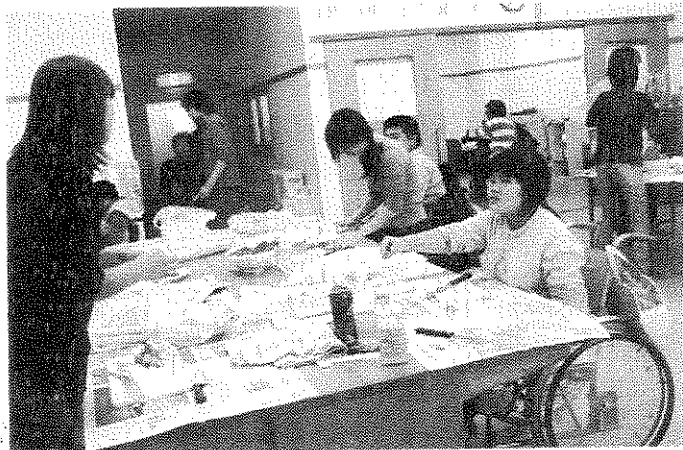
A:私たちは、障害を持った人たちが積極的に自分らしく外へ出かけられるような様々なきっかけ作りをしていくために、もっと参加しやすいところに当事者の拠点を増やしたいと考えていました。ここは名古屋養護学校がすごく近いですし、青い鳥学園（心身障害児療育センター）もあり、他の施設も多く、障害のある人がたくさんいます。それぞれの施設のみなさんたちに利用してもらうための利便性や名古屋市西区在住の障害のある



人の家族からの要望も多かったことから、西区を活動の拠点としました。

Q:どんなことをしているのですか？

A:基本的に自立生活のきっかけ作りを行っています。障害当事者のサークルとして活動をしていると考えてもらえば分かりやすいですね。中高生には学校帰りに利用してもらって、それぞれのしたいことをする空間として利用してもらっています。



最初のうちは、毎週のようにスタッフ側が企画したイベントをしていました。でも、だんだんと生徒さんの方が「こういうことをやりたい」という希望を出して企画を作り、それに対して、我々が必要なスタッフをくっつけるといった感じで進んでいます。イベントの回数自体は減り

ましたが、生徒主導の行事運営に変わりました。自立生活センターとしての役割といえば、範囲がすごく広がりますが、生徒さんなどに対して、やったことのないことにどんどんチャレンジしてもらい、それらが将来の自立生活に繋がるノウハウを身につけるための手助けとなればよいわけです。難しいことではなく、一般の高校生がふつうに経験して来るようなことを彼らにもしてもらえればいい。そのために、ただ家に帰るだけに終わらず、学校が終わってからの時間を有効に使おうよ、土日もゴロゴロするだけじゃなく、どこか外へ出かけてみようっていうことからスタートしている訳です。



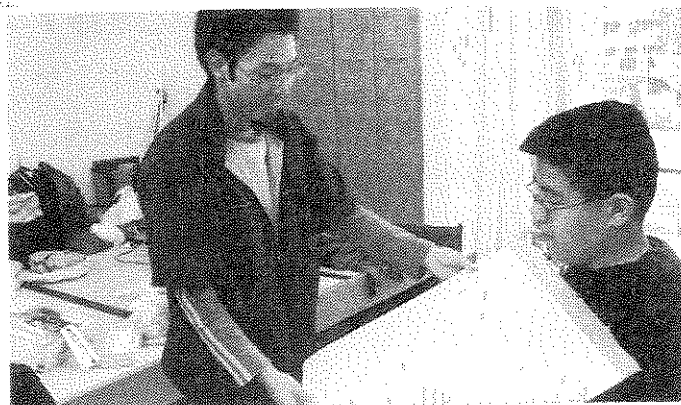
Q:活動理念を教えてください。

A:「どんなに重い障害を持っていても、地域で自分らしく生活して行くのが当たり前である」ということを伝えて行くこと、それを実現させるためのサポートを行っていくことです。皆に伝えていることなのですが、家とか施設に閉じこもっているのではなく、その力を地域の中で生かして自分の生活をして欲しい。そのため環境や制度はもう整いつつあると思います。(・・・また足りない時代に逆戻りしそうでこれから戦う必要がありますが)ここに集まる障害を持つスタッフも、現に地域で生活しています。その経験やノウハウを伝えていくことが我々の大きな使命だと思います。それを念頭に置きながら障害を持った仲間が、「外に出て行くこと」や「新しい自分を発見する」ためのき

っかけ作りの場を提供することやそれを見つける手助けができれば。経験の少ない生徒さんたちにとって「きっかけ」って、すごく大きいんですよ。私自身も施設にいたとき、施設の外の友達から進学の事や夢の事を聞かされたことが、施設を出て社会に飛び込む大きな「きっかけ」になったのですから。

Q:生活塾に来るようになって、すごく変わって来た生徒さんはいますか？

A:実際に養護学校生と関わり始めてまだ5月から半年くらいなんですが、みんながみんな大きく変化しているわけではありません。でも中には、「去年と今年では生活が全然変わったね」という生徒さんもいます。最初はすごくシャイな生徒だったんです。特に「ああしろ、こうしろ」という訳ではなく、スタッフの方から「どこかに行ってみようか」なんて感じで接していましたが、ある日、彼が「サッカーを見に行きたい」と言いだしまして。じゃあ、せっかく見に行くなら、調べ方やチケット購入方法を教えるから試合の日程や時間、チケット取りなどを自分でやるように勧めました。結局、事情で見に行くことはできなかったのですが、段取りは全て自分で組むことができたんです。それで弾みをつけ、その後イベントの企画もできるようになりました。今日の豚汁づくりもその生徒が中心になってやってるんですよ。(翌日に開催されるバザーで販売するためにみんなで作っていました)



Q:生徒さんへの関わり方で大切にしていることはありますか？

A:これまで生徒に接してきて、やっぱり一番大きいと思うのは、「できない」のではなく、今まで「やる機会がなかった」のだなということ。また話をしている、あることについて、「知ってる」んだけど「その先はよく分からない」ということが多いです。要するに、経験が不足しているということですが、単に「経験不足」として片づけるのは怖いこと。経験不足にさせている原因を見極め、それに対して有効なアプローチをして行かなければなりません。そうなる環境がいろいろあると思うんですよ。親が手元で困っていたりとか、それが本人の障害だったりとか、施設にいるためとか。ひとつひとつ働きかけなければいけないポイントが違うわけですから。それを理解した上で、でも、しゃかりきになって改善させるのではなく、少し背中を押してあげる、きっかけとなるようなサービスを提供することが大切だと考えています。



Q:利用されている方はどれくらいですか？

A:養護学校生の数は9名（10月末現在）です。最初ここに来た養護学校生たちが、今、活動の中核を担っています。そこから友達との繋がりとか、親同士の繋がりや「来たい」と希望されてきた生徒さんたちもいます。でも、生活塾の対象者は、自立をしたいと願う地域の障

害のある人全てですので、現在、成人の障害のある方も5名参加されています。



Q:スタッフはどんな人たちですか？

A:全部で8人スタッフとして動いています。障害を持っている人が4名（男）、障害を持たない人が4名（男女各2）、全部で8人です。障害のあるスタッフの障害タイプは、筋ジス1名、脳性まひ2名、脳外傷の中途障害1名です。女性のスタッフが少ないですね。

Q:介助が必要な障害の重い生徒さんのサポートはスタッフがしているのですか？

A:生活塾に来ているほとんどの人が、ヘルパーさんを利用して遊びに来ます。そうでない場合は、生活塾のスタッフが対応することになりますので、手薄になることもしばしばあります。しかし、われわれの目指す先は「自立」です。真剣に自立したいと思っている方であれば、一緒に受け入れ体制づくりを考えて行ければと思います。

Q:送迎は行っていますか？

A:相談には乗りますが、原則として送迎は行っていません。

Q:生活塾の利用料は必要ですか？

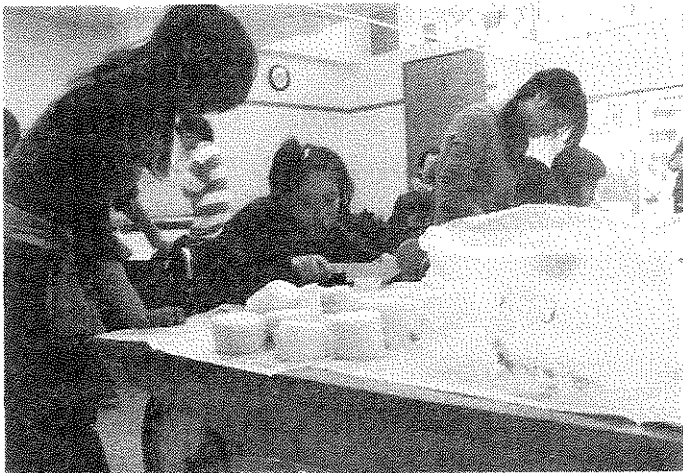
A:特別なプログラムなどを受講する場合は、受講料を頂きます。ただ生活塾に遊びに来ても

らうことに特に利用料は必要ありません。
我々の運営を支えてもらう会員さんは大募集
していますので、ぜひ生活塾の会員になってくだ
さい。

一般会員費：年間1,000円
賛助会員費：年間5,000円

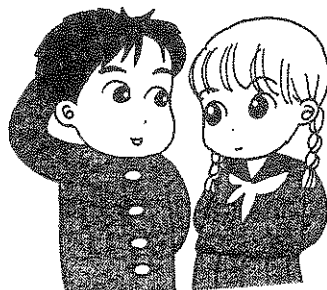
Q: 何時ぐらいまで利用できますか？

A: 仲間が誰もいなければ、だいたい19時頃
は閉めています。でも、何か目的がある場合、
事前に申告すればそれ以降の利用もできます。



Q: 生活塾の一番の強みは何ですか？

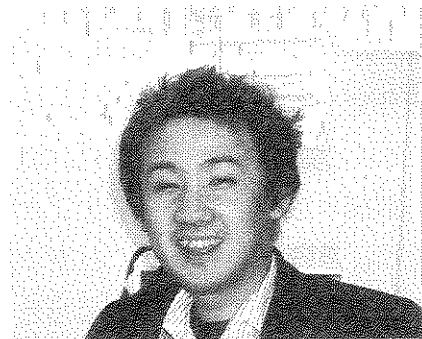
A: 生活塾には障害を持つがゆえに培われた自
立生活に関するたくさんの経験や情報を持った
当事者が、スタッフや仲間として集まっていま
す。ただ制度に乗っかって、ヘルパーなど、さ
まざまな社会資源を使うだけで毎日暮らして行
くだけでなく、より自分の生活に合った制度を
使い分けて行くために、みんなで勉強したり、
ノウハウを提供し合ったりできることだと思
います。まあ、本当にみんなで一緒になって考え
られるが一番大きいと思います。



Q: 最後に、今後の展望を教えてください。

A: 生活塾を巣立って行った人たちが、人生
の中で大きな選択をしなければならないとき、生
活塾で学んだことが役立って欲しいと思いま
す。また、その人たちが、生活塾を盛り立てて
行く人になったり、他の団体や地域で活躍して、
世代を越えて障害を持つ後輩たちの先輩として
また別の自立生活センターのリーダーとなれば
いいなと思います。

事務局長 加古雄一さんの紹介



昭和51年9月16日生まれ。進行性筋ジスト
ロフィー症。電動車いす使用、生活の多く
の部分に介助が必要。施設経験と会社員経
験を持つ。(以前、本誌に「カナダ留学体
験記」を書いてもらっています) ヘルパー
を使って地域で暮らし始めて5年目。こう
した経験を、他の障害を持つ人たちの自立
生活に役立てたいと日々奮闘中。

生徒さんやボランティアさんに インタビューしました。

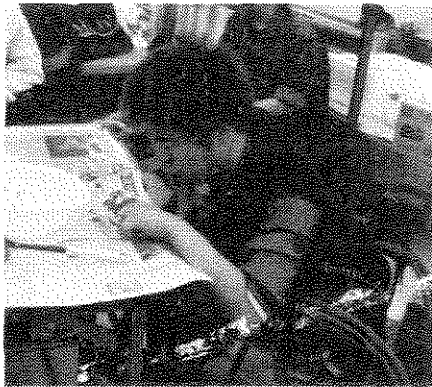
●生活塾に来てよかったことは、自分から外に
出かけられるようになったことです。これから、
もっといろいろなところに出かけてみたいで
す。でも、ここでみんなと会話することが一番
楽しいかな。(名古屋養護17歳 男)

●特に自分がどう変わったかは分からないです。生活塾でみんなと出かけられることが嬉しいです。中でも、みんなと海に行ったことがいい思い出です。(名古屋養護 17歳 女)



●友達の紹介で1度覗いて、みんなと仲良くなれたから来るようになりました。生活塾のいいところは、学校みたいに決められたことをやるんじゃなくて、自分がやりたいことをいえば、みんなでできることです。餃子づくりをしたとき、私の提案でキムチをちょこっと入れてみたら、とてもおいしくなりました。ここに来て一番成長したなと思うのは、積極的に行動できるようになったことです。(名古屋養護 17歳 女)

●養護学校の卒業生という立場で関わっています。生徒に何かを教えるというよりも、(こんなこと知ってたかな、できた



かな)と学生のときの自分を思い出しながら、一緒になって動いているという感じです。生徒たちとともに自分も成長して行けたらいいなと思って活動しています。「学校を卒業したら施設」という流れを止めて、いろんなフィールドに身を置けば、障害を持つ生徒はもっと伸びるんじゃないのかな。

(養護学校卒業生 23歳 男)

くらくらの感想

考えてみると人間は、進学や就職など、一生の運命が決まってしまうような選択をせまられることが、若いうちの、しかもほんの一時期に集中しているような気がします。まして障害を持つ人は、障害のタイプもそれぞれ違うし、障害のない人より圧倒的に人数が少ないため、その選択の参考になる情報や、自分の目標にできる人があまりにも少ないのが現実です。私自身も、重度の脳性まひの方が大学に試験時間の延長を認めてもらい、修士課程や博士課程に進んだという話を、受験期を過ぎてから聞いたときには、大変なショックでした。インタビューに答えてくれた加古さんも、「子供のときにこれを知っていたら、今ずいぶん違うだろうな」と思うことが結構あるとのこと。全国的にも、まだまだ生活塾のような試みは少ないです。でも福祉の名の下に、低賃金でノルマのある部品組み立てや過酷な廃品回収などの作業を授産施設で行う選択肢しかない現状を打開し、それぞれの可能性を広げていくためには、とても必要な活動だと思います。今後、生活塾のようなセンターが増え、社会との接点が少ない障害を持つ子供たちの無限の可能性を、全国各地で引き出してくれる拠点が増えるといいと思います。

取材日：11月13日(土)

生活塾

会長：井上洋一氏

脳性まひによる障害を持ち、生活の多くに介助が必要。療護施設、福祉ホームでの生活をへて現在名古屋市内で自立生活を送っている。

電動車いす使用。 *本誌P15でも紹介

残念ながら取材時にはお留守でした。

場所：名古屋市西区南川町92

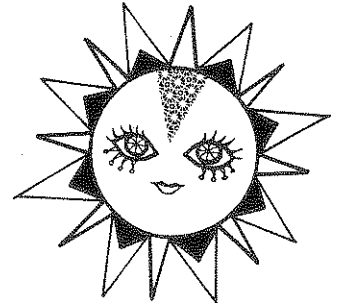
若草マンション1F

TEL 052-506-8733 FAX: 052-506-8736

MAIL: seikatsujuku@s8.dion.ne.jp

排泄障害でお悩みの方へ 「盲腸ポート手術」

日々の排泄に苦労している方や悩みを他人に話す事もできないで、外出もままならず家に閉じこもりがちになっている方々のために、米国で開発された「盲腸ポート手術」をご紹介します。排便で時間が掛かりすぎる、頑固な便秘や下痢症で心配などという方にとっても朗報であると言えるかも知れません。



はじめに

本誌72号の特集で「頸随損傷や脊髄損傷の人にとっての排便コントロール」について数名の工夫を紹介しました。膀胱や直腸に障害のある頸随損傷や脊髄損傷などの人にとって、排便コントロールはとっても気になる問題です。外出しているときに失禁（失便）してしまうことや、家に一人でいるときに失禁（失便）してしまうことは、そんなに特別なことではありません。

盲腸ポート手術とは

盲腸（大腸の入口）にシリコン製のポートを埋め込む手術（盲腸手術とはほぼ同じ程度）で、そのあとは、1日1回そのポートから浣腸液を注入すると、30分から60分程で大腸が空っぽになり排便が終わるといふもの。アメリカでは約10年前から実施されている手術で、日本では数年前から実施されているそうです。

「まだ便が残ってないかな？外出しても失便しないかな？大丈夫かな？」と心配しなくてすみ、生活する上で計画が立て易くなりそうです。この浣腸作業は、30分～60分くらいで必ず出るし、横腹から浣腸液を注入するので自分でできる人も多いようです。たとえ人の手を借りる人も肛門から入れるよりずっと楽だし（直腸の損傷がないし、浣腸液も無駄にならず本人も介助

者も絶対楽）、大腸内が空になるのでもらす事もないようです。

手術方法

原理は、浣腸液を大腸の入口に入れて、大腸にあるすべての便を自動的に肛門から排出する方法です。このため盲腸に管を特別の方法で入れる手術をします。下腹部に小さな管を埋め込み、管にはふた（栓）がついており、腹壁とほぼ同じ高さにあります。

排便方法

ポートの栓（キャップ 厚さ2mm, 10mm×20mmの楕円状）をはずし、直径8mm（先端は細い）の20cm位の管を通して浣腸液を注入する。

効果

米国では手術後24時間で経口摂取（飲んだり、食べたり）開始ができて、ポートからの浣腸は翌朝から可能で、手術2日後には退院できるということです。浣腸液60cc～120ccを入れることによって15分～30分で（個人差あり）すべての便が排出され、2日に一度の浣腸をする人が平均的に多いそうです。

日本で最初の方は、2002年12月に東京の方

(62才)と広島の方(60才)、03年1月に東京の方(41才)、4月に長野の内藤さん(64才)でした。以後長崎の方、四国の方と日本国中から希望者が殺到しているそうです。

手術をされた内藤茂人さんの 体験談 (頸椎損傷5.6番、男64才)

2003年4月11日、東京都青梅市青梅市立総合病院で手術を受けた。この病院は、日本で一番の「癒しの病院」という称号を与えられています。高柳先生が代表を務める「癒しの環境研究会」と理念が一致して、排便障害のある人たちのQOL(生活の質)の向上を高める為にこの病院を提供されたとお聞きしました。

2002年10月全国脊髄損傷者連合会で行った「排便障害」に関するアンケート調査を書いて送りました。その後、高柳先生から電話があり、いろいろ悩んだのですが、せつかくのチャンスだと思い手術を受ける事に決めました。

1ヶ月後、東京都青梅市青梅市立病院で「盲腸ポート手術説明会」が開かれた。病院側には、院長、外科部長、看護師長、麻酔科の先生、高柳先生が手術の流れを説明後、質疑応答があった。2,3問の質問をし、その場で手術をお願いした。

<4月9日 入院>

前2日間は検査で明け暮れ、前日夕、外科、麻酔科担当医の手術前オリエンテーションが済み、11日手術に臨んだ。

<4月11日 手術日>

当日、手術室に8時45分に入り11時30分退出した。その日は点滴で栄養摂取。

<4月12日 手術後1日目>

次の日食欲なく点滴、夕食からお粥をとる。

<4月13日 手術後2日目>

10時、「盲腸ポート」を使って初めての浣腸。へその右斜め下10cmの横腹に作った注入口からなのだが、手の効く人なら1分もかから

ないで浣腸できるだろう。5分もするとゴロゴロと大腸が活発に活動して、あっという間に排便、あっけなかった。注入後何分で排便できるのかは個人差があるようですが、ほとんど30分以内で大腸の中は完全に空になってしまうのだ。今までの苦労は一体なんだったのだろうか。

この日から訓練の為に毎日朝10時に浣腸作業をする。私はトイレの便器へは移れないので、ベッドに汚れ止めシートを敷き、布団を胸に前かがみに座り、お尻を上げ簡易便器を差し込んでもらい腰掛ける。手術を受ける前の不安から解き放たれ、やって良かったという喜びと満足感でいっぱいでした。

<4月17日 手術後6日目>

9日入院して13日退院しようと思ったが、縫い口が完全に付いたほうが良いというので17日に退院した。

<手術をしてみても>

この手術は排便で苦勞する、いつ出るかわからず紙おむつが必要な人、看護師さんや家族に手を煩わせている人、トイレが心配で外出に悩んでいる人、とにかく排便で悩みを持っている人は老後を考えても、検討する価値が充分あると思います。

<内藤茂人さん質問へ聞いてみました>

① 手術を決めた理由は?

一番目は、頸損になってから35年経過して、この間16年間会社勤めの間は会社での失敗を恐れ下剤を使用できず、浣腸液だけで耐えてきて、56歳で退職してからは下剤を併用しましたが、60歳過ぎになり排便時間の長さで困難さ、下剤の無効で3日おきの排便がうとましく、日常生活の中でその時間だけが失望感にさいなまれていました。2番目は四肢まひのため、トイレの作業はベッド上ですべて家族の手を借りなければならず、やってもらっているこちらにも疲れるが、やる側の疲れも相当だろうと察していたので、すまない気持ちでいっぱいでした。

3番目は、私の手術結果次第で排泄の悩みから開放される大勢の仲間が出るに違いないと思っただからです。

② 生活上のメリットは？

3日おきの排便以外、失敗がないので排便の事を忘れて日常生活に専念でき、予定が立てられる。個人差もありますが、排便行動がほぼ30分以内で完了します。ポート手術後、一度も便失禁はありません。

③ どうして便が出きったことが分かるのですか？

私は排便感覚がありませんが、毎回ほぼ同量排便するため、毎回浣腸液の注入時間を見て、次に量と重さ（便）を確認して同じ量であれば終了と確信しています。時間は回を重ねるごとに自身の目安を観察してください。

④ 寝た状態でも排便できますか？

仰向けに寝てする場合は、便器を差し込んだ部位と背が極端に曲がらないようにすれば良いと思います。

⑤ 困ったことは？

手術半年経過後、車に乗っていて、ガタンガタンと揺れた時、しくしくと痛みを感じる時がある。さほど苦痛ではないのでこんなこともあるという程度です。あと、排便が終わって安心していると、腸内に浣腸液が残っている場合、水便が出ることがあります。個人差にもよりますが毎回観察をして自分の腸の癖を知ることです。それによって浣腸液の量を加減しています。

⑥ 気をつける事は？

衣類の着脱の時、引っ掛からないようにする事です。（予防としてポートに粘着シートでガーゼを張っています。お風呂の時は、同じ様に防水シートを張っておきます。）ポートの縁から浸出液が出るため、ガーゼ交換はしています。

⑦ 今までにキャップがはずれた事はありますか？

外れた事はありません。

⑧ ポートが壊れたり、材質退化したら？

ポートは一生装着しつづけます。万一壊れたり交換時期（2年位）がきたときは、ファイバー

スコープ（内視鏡）で交換し手術の必要はありません。一般外科医で出来ます。

⑨ 激しい運動はできますか？

ポートは皮膚から突き出していないので、身体を折ったりかがめたりしても邪魔になりませんし、キャップを閉めておけば水も入らず濡れる心配もないので海やプールへ泳ぎに行けます。うつ伏せ寝、寝返りも構いません。

⑩ 手術費用、時間、入院期間は？

診療報酬（保険）がまだ認められていない手術なので、全額自費負担となります。入院費込みで病院により差はありますが50万から60万円です。手術時間は、正味1時間半。期間は約8日から10日程度。

ご質問等



■内藤茂人さんの連絡先

〒385-0034 長野県佐久市平賀2360-1

TEL0267-62-0524 E-mail:naitocto@avis.ne.jp

■高柳先生の連絡先

〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5

日本医科大学医療管理学教室助教授（癒しの環境研究世話人代表）高柳和江

TEL03-3822-2131(内5413) FAX03-3822-8144

E-mail:taka-y@nms.ac.jp

手術を実施している病院

■青梅市立総合病院 TEL 0428-22-3191

東京都青梅市東青梅4-16-5

<http://www.mghp.ome.tokyo.jp/>

■特定医療法人愛仁会高槻病院

大阪府高槻市古曾部町1-3-3 TEL072-681-3801

<http://www.aijinkai.or.jp/takatsuki/hotnews/index.html>

■岡山中央病院 プライマリ・ケアセンター伊島

岡山県岡山市伊島北町6-3 TEL086-214-3224

■マツダ㈱マツダ病院

広島県安芸郡府中青崎南2-15 TEL 082-565-5000

■広島三菱病院 TEL 082-291-2101

広島県広島市西区観音新町4-6-20

■東北大学医学部付属病院小児科

宮城県仙台市青葉区星陵町1-1 TEL 022-717-7237

そらいろ探邸団

そらいろたんていだん

一級建築士のどんちゃんがあなたのお宅を訪問します。

～第16回 名古屋市昭和区の井上さん邸～

今回は名古屋市昭和区にお住まいの井上洋一さん宅にお邪魔しました。井上さんは脳性まひで室内、屋外とも電動車いすで移動されています。日常生活のほとんどの場面で介助が必要です。平日は名古屋市西区にある「生活塾」の会長をされています。福祉ホームに4年間住んでからの一人暮らしです。お住まいは築30年の鉄筋コンクリート造、賃貸マンションの1階です。僕が設計士として関わっています。

どん：お邪魔します。マンションにしては道路と玄関との高低差がとても少ないですね。

井上さん（以下、井上）：そうなんです。まずそこが気に入りました。

どん：玄関内部はスロープになっていて、玄関ドアには自動ドアクローザー[*1]が付いています。

井上：一人で帰宅することもあるのですが、リモコンボタン一つで解錠し、ドアが開くので家への出入りに介助は必要としません。インターホンはカメラ付きで、玄関や寝室から来訪者への対応ができます。「はい」と大きな声を出せば自動に外と話ができるハンズフリーの製品です（※Panasonic製）。

どん：室内も段差がありませんね。

井上：改造する前から室内には段差がありませんでした。寝室として使っている一番南側の部屋が和室なので、畳の上にホームセンターで買ってきたウッドカーペット[*2]を敷いています。思ったよりも薄かったので段差は気になりません。

どん：一般的に和室は敷居分の段差があることが多いのですが、良い物件に巡り会いましたね。

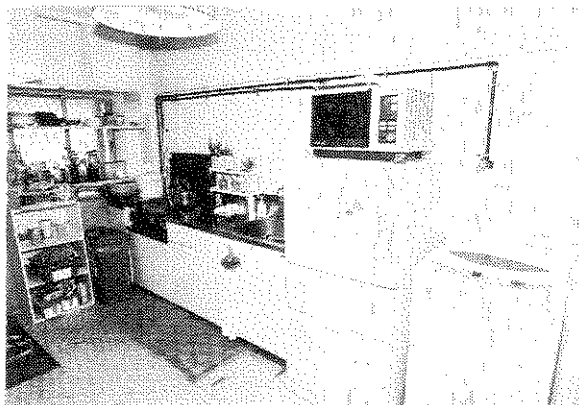
井上：建物だけでなく、大家さんもとても理解のある良い人です。改造に関しても壁を壊しても良いと言ってくれたり、退室するときも完全に前の状態に戻さなくても次の人が使えればいいよ、と言ってくれて。



外から玄関を見る



キッチンから居室を見る



キッチン

[*1]自動ドアクローザー：リモコンやスイッチを押すことで、開き戸（マンションの玄関ドアなど）を電動で開閉、鍵の施錠をする装置。数社から製品が出ている。

[*2]ウッドカーペット：フローリング調の化粧合板や無垢の板を不織布などで裏打ちして巻き取れるようにしたもの。木製じゅうたん。工事を伴わず簡単にフローリングの床にできるが、厚みの分段差が生じる。

どん：本当に理解のある大家さんですね。

井上：キッチンも元々あったものが小さく使いにくそうだったので、それは処分し新しいキッチンを入れました。調理スペースが広々としてヘルパーさんにも好評です。僕は料理をしないのでキッチンは一般的な製品です。あと洗濯機置き場がなかったので、キッチンの横に洗濯機置き場を設けました。

どん：公営住宅だと、現状復帰のために元々あったものを取っておかなければならないので、キッチンを入れ替えるのは難しいですが、これも大家さんの理解があつてのことですね。それでは次に浴室を。

井上：浴室ですが、まず扉が狭かったので（※64cm）壁を壊し、新たに幅広のアルミの折れ戸にしました。

どん：有効開口幅は74cmです。

井上：浴槽はこの浴室に入る一番大きいサイズ（※90cm×70cm）の浴槽を選び、洗い場にはスノコを設けました。一番の改造はリフトを付けたことです。リフトを付けるにあたってはメーカーの担当者と、メーカー下請けの工事会社と、全体の工事をする大工さんと、設計士と自分との5人で、実際の現場や図面上でシミュレーションをして、リフトの設置位置やアームの長さを考えました。

どん：浴室に入るのに段差がありますが。

井上：車いすのまま浴室に入るわけではなく、浴室の入り口手前でリフトで吊りあげるので、水漏れのことを考えて段差はそのままにしました。入浴の手順ですが、浴室の前で車いすに座っている状態から、脇と膝で吊りあげるツーピースタイプ[*3]の吊り具で吊ってもらい、浮いている間にメッシュタイプ[*4]の吊り具を床に敷き、そこに降ろしてもらって、脱衣をした後、また吊ってもらって浴室に入ります。

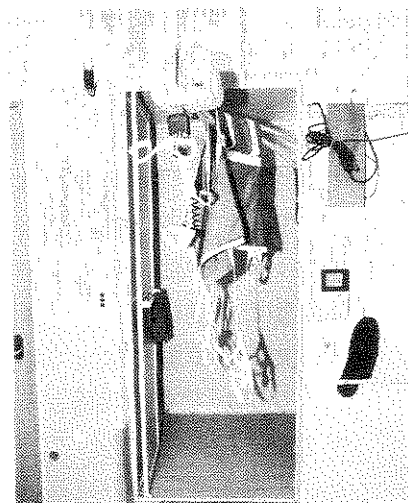
どん：このリフトは床面まで問題なく降りるので良いですね（※ミクニマイティエース）。あまり下まで下らない製品も中にはありますので。

井上：風呂場ではリフトで浮いた状態で身体を洗ってもらうことが多いです。ヘルパーさんも腰が楽だと言っています。長くは吊られていられないので、辛くなった時は洗い場に降ろしてもらって寝転がって洗っています。

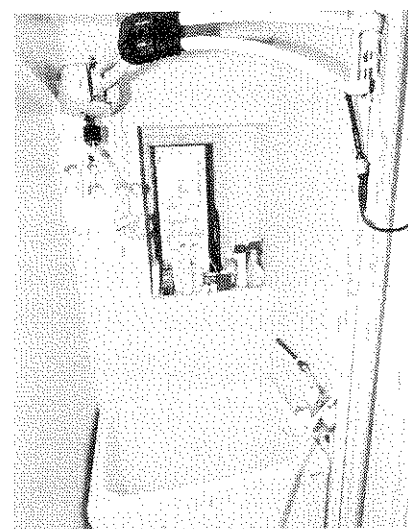
どん：それではトイレですが。

井上：トイレもリフトで吊ってもらって車いすから便器に移乗します。リフトの巻き上げユニット[*5]が取り外しできる製品を選んで、浴室と付け替えて使っています。トイレも入浴同様全介助です。元々和式便器でとても狭いトイレだったので、扉はできるだけ大きくして（※幅90cm）入りやすいようにしました。

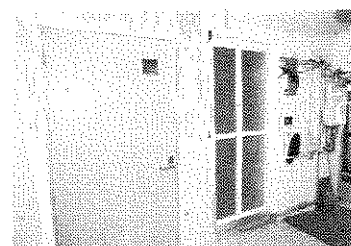
どん：引き戸を取り付けるのが物理的に困難だったので、あえて安価で故障の少ない開き戸になっています。



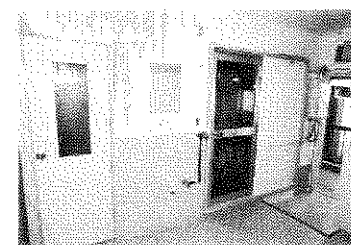
キッチンから浴室を見る



浴室内



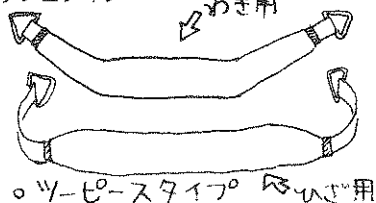
浴室・トイレ入り口（工事前）



浴室・トイレ入り口（工事後）

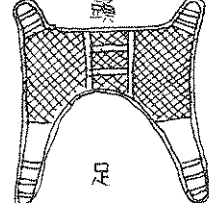
[*3]ツーピースタイプ：

[*4]メッシュタイプ：



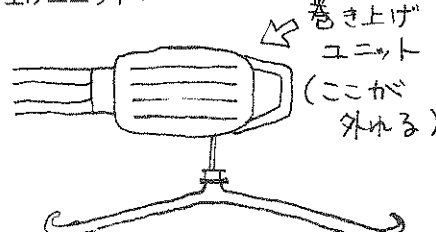
○ツーピースタイプ ゆき用 ひざ用

○メッシュタイプ



足

[*5]リフトの巻き上げユニット：



井上：名古屋市では日常生活用具の特殊便器[*6]という種目が便器一体型（限度額151,200円）と便座型（同122,800円）に分かれるのですが、使い勝手を考えて奥行きが少ない便器に別売のシャワー便座を取り付けたところ、単価の安い便座型になってしまいました。

どん：全国的に特殊便器の限度額は151,200円になっていて、便座型だと安いというのは僕の知る限り名古屋市くらいです。だいたい一体型になっている便器なんて一般的ではないです。リフトですが問題なく動いていますか？

井上：一度だけ上がったまま降りることができなくなったことがあります。その時はちょうど背の高い男性ヘルパーだったので、何とか降ろしてもらえたのですが、非常用に手動で降ろす機能が付いているのですが、これも効かなかったんです。メーカーによると原因は不明ということでした。

どん：それはちょっと心配ですね。福祉ホームからこちらに引っ越して一年と数ヶ月が経ちましたが。

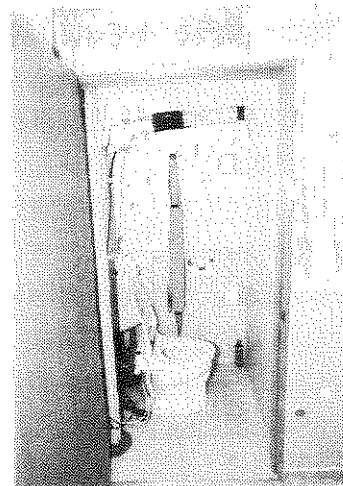
井上：日常生活的にはたいへん満足しています。不満と言えば、車いすで転回するには室内が少し狭いということです。まっすぐ走るにはいいのですが、転回するとなるとあちこちにぶつけてしまいます・・・。あと電気のアンペアが20Aしかないのでブレーカーが落ちることがあります。また、玄関ドアが少し狭く（※幅75cm）、スロープ脇の壁にガス管や給湯器が付いていて、スロープを上がるときにぶつかってガスが漏れないかと、心理的なプレッシャーになっています。

どん：やはり住んでみるといろいろありますね・・・。他には？

井上：僕の一人暮らしに反対していた親父を、実家で暮らすより名古屋の方が暮らしやすいと説得しました。最初の頃は頑として僕の話を受かかなかった親父が、不動産屋をあちこち回り、この物件を見つけてきて親父にも見ってもらったり、設計士を交えて打ち合わせをしたりするうちに、あらゆる制度を使っていけば僕のような重度障害者でも地域で一人暮らしをしていけるということをもんだんと理解してくれました。このことが僕にとって一番うれしかったです。次第に親父も協力的になり、ここの改造資金も援助してくれました。

どん：それは良かったですね。一人暮らしをしたいけど親に反対されている人にとっては、とてもためになる話だと思います。今日はどうもありがとうございました。

井上さんのお宅の工事にかかった金額は195万円で、名古屋市の住宅改造の補助金（80万円が上限）や日常生活用具の制度を使い、そのうち自己負担は80万円程度でした。玄関（自動クローザー）、浴室（リフト）、トイレ、キッチンと改造してこの金額で収まったのは、最初から床の段差がなかったことが大きいと思います。自分の城を持ち、自分らしい生活をおくっている井上さんでした。



トイレ

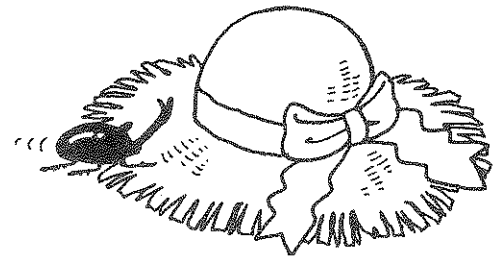


寝室にて

[*6]特殊便器：足踏みペダル等で温水温風を出し得るもの及び知的障害児・者を介護している者が容易に使用し得るもので温水温風を出し得るもの。対象者は上肢障害の2級以上の方又は知的障害の重度以上で訓練を行っても自ら排便処理が困難な方（原則として学齢児以上）。耐用年数は8年。

知佳と薫の 初めての海外旅行 ～ハワイ～

編集委員の知佳ちゃん（リウマチ、松葉杖と電動車いす使用）と、薫さん（脊髄損傷、車いす使用）が、別々になのですが、ハワイへ初めての海外旅行へいってきました。その報告です。偶然、乗った飛行機（出発日は違います）と利用したホテルが一緒だったようです。



家族でバリアフリースーツアーに参加しました。 By 薫

3月1日～6日まで、ハートTOハートのツアー（初めてなのでバリアフリーで安心できるツアーを選びました）で、母と私の娘二人の4人で、ハワイのホノルルへ行ってきました。

パスポートの申請

下記必要書類を持って愛知県旅券センターへ行きました。

- ・ 戸籍抄本または謄本1通
- ・ 住民票1通（戸籍謄本と住民票は、同一戸籍内にある2人以上の方は1通で共用）
- ・ 写真1枚（パスポート用のサイズ）
- ・ 官製はがき
- ・ 印鑑
- ・ 身元確認ができるもの

ここで私は失敗をしてしまいました。申請書は平日しか受け付けていないので、学校で行けない中学生の娘の署名は私が代理ですればいいと勘違いしていたのです。実際は署名欄は本人の署名が必要で、1度ですむと思っていた申請は、結局、1度目は申請書をもらって帰るだけとなり、もう一度足を運ぶ事になってしまいました。あともうひとつ、身元確認で健康保険証と生徒手帳が必要だったのですが、保険証だけを持参

していたのでそれも指摘されました。運転免許証があればそれだけで身元確認となるので私と上の娘と母はOKでしたが、中学の下の娘は生徒手帳が必要でした。

申請をして5日位で「取りに来て下さい」という通知が来ました。受け取りは本人が行く必要があるのですが、下の娘が休みの日曜日に行きました。（受け取りだけは日曜も開いている）

出発の日 3月1日(火)

朝、父に車で金山駅まで送ってもらい、名鉄電車で中部国際空港へ向かいました。（片道、手帳提示で乗車券400円と指定席350円で750円）私はこの電車の中で、席に付かずにトイレがどうなっているのかをのぞいたり動いていたら、なんと酔ってしまいとても気分がブルーでした。（車いすで利用できるトイレがありましたよ）30分位で到着し電車を降りるとすぐ空港になっていました。出発まで昼食を食べたり空港内を見学をして時間をつぶしました。平日だったせいかテレビで見る程の混雑はしていなく快適に見学ができました。



いよいよ飛行機に乗る

ジャルウェイズの19:40発の飛行機に乗りました。搭乗前に受けるボディチェックでは、車いすを使用している私は、女の人が肩から足先までベターツと触って上着の中にも手を入れたり、背中や車いすのシートと体の間まで念入りにチェックされました。えーっこんなにもキツチリするものだとびっくりしました。歩ける人は簡単に金属探知器を通るだけなのに、なんで私はこんなに触られなくちゃいけないの？それに時間も掛かるし…。

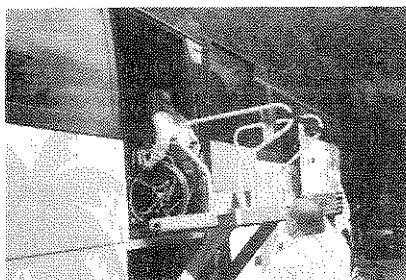
19:15分に飛行機の入口の所で、機内用の車いすに乗り換えて機内に入りました。座席へは、自分の口ホクッションをしいて肘かけを跳ね上げて自分で移りました。

窓からは夜景がきれいに見えました。しばらくすると機内食が配られ、飲み物は飲み放題でした。でも私はトイレの事を考えあまり飲まないようにしました。一応機内は広くはないけれど車いすでも使えるようなトイレだったのですが、そこまで行くのに機内用の車いすで連れて行ってもらわないといけないので、面倒という事もあって行かないようにしました。食事を済ませ空席が多かったので2人分の席に横になり寝る事にしました。3人分の席を使って寝ている人もいました。起きたらハワイ！！のはずだったので、乱気流のため揺れるわ揺れるわ、寝ている状態ではありませんでした。

7:20 ホノルルに到着(時差19時間)

飛行機が揺れたため、ほとんど寝る事はできず眠い状態のまま、リフトバスでカメハメハ大王の銅像、イオラニ宮殿を眺めながら市内観光を

して、おみやげ屋に寄りレストランで昼食。バイキングでお味噌汁を飲んだのですが濃くて飲めなく、他のおかずも



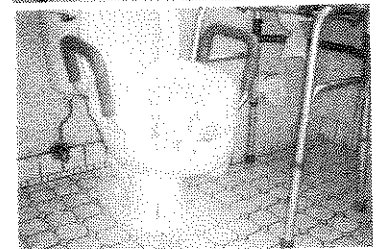
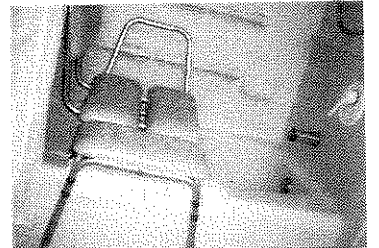
味が濃くてだめでした。ぜんざいとアイスクリーム、果物はおいしかった。高速道路は丁度朝のラッシュで渋滞していました。どこの国も同じですね。

14:00 ホテルに到着

荷物を片付けてホテル近辺に外出。おみやげやABCストア(日本で言うコンビニ)で夕食の買い出しをしました。その時に買ったローストビーフサンドがまた口に合わなく、私は好き嫌いがなくなんでも食べられるはずだったので…あと3日間食べられる物があるのか少し不安でしたが、もしかしたら痩せられるかもと思いました。唯一、ホテルの朝食バイキングとデザート類だけはおいしかったかな。ケンタッキーとモスバーガーなら大丈夫かと思い買ってみたのですが、日本の味と違いだめでした。

ホテルはハンディキャップルームの部屋に泊ま

りました。トイレと洗面所とお風呂が一緒になっている所は広くて車いすでも十分回転が可能だったので、トイレには手すりも一つも付いていなく洗面所はやたらと高く、どこがハンディキャップ

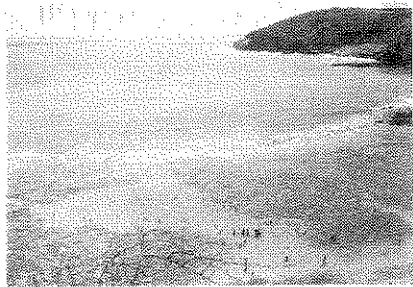


なの？隣の母の一般の部屋を覗くと洗面所が私の部屋より低くこちらの方が使いやすいと思いました。何故？この日は明日の為に早く寝ました。

3月2日(水)

オプションツアー「シーライフ・パークとハナウマ湾半日観光」と「豪華客船でフルコースディナーとクルージング」に参加。リフトバスでシーライフ・パークに行きました。イルカのショーやアシカやペンギンを見学。園内は坂が多く全部は見学しませんでした。もつとすご

い所だと思っていたので期待はずれでした。次にハナウマ湾へ行きました。丘の上から眺めたのですが、珊瑚礁も透けて見えるほどすごーくきれいな海で感激！ホノルルの海にはだいたいランディー



ズ（砂浜で使う車いす）の貸し出しがあるそうで、ここの海にもあるそうです。今回は私も娘達も海に入るつもりはなく水着を持って来ませんでした。（私と上の娘は買い物か目的なので）でも、あまりにもきれいな海だったので下の娘は海に入りたーい！と言っていました。今度来た時には絶対近くで珊瑚礁に群がる魚達を見たいと思いました。

昼食は日本食の店「義経」で餃子鍋かクリームコロッケのどちらかでしたので、私は餃子鍋を食べました。なにも餃子を鍋に入れなくても焼いてくれればいいのに…と思いつつ久しぶりの日本食に満足。ごはんはタイ米なのかパサパサして決しておいしい物ではありませんでした。クリームコロッケは1個が2個分位ある大きさのが2個もついていて、アメリカの人はたくさん食べるのだなと感心しました。街を歩いている外人さんは太っている人が多いのも分かる気がしました。

昼食後、歩いてホテルまで散歩がてら帰り、夕方からリフトバスで港まで行き、豪華客船で食事とサンセットクルージング。ディナーでロブスターが1匹ついてきて初めて食べたのですが、パサパサしてる??これが食べてみたかったロブスターなの?ちょっとショックでした。やはり食事は揺れていない所で食べるのが一番！下の娘は最後までトイレにこもりっぱなしになりかわいそうでした。

3月3日(木)

さすがに疲れてきて朝はゆっくり寝ていたの

で、朝昼兼用でホテルのバイキングで食事をしました。食後、アラモアナショッピングセンターへバスに乗り（一人2ドル、身障割引1ドル）買い物に出かけました。バスはほとんどガリフト付きになっていて、前から乗って前から降り、降りる人が多い時は後ろのドアも開けていました。リフトが前に付いているので運転手さんは



席をはずす事もなくリフトの操作をしていました。日本もこういうバスなら時間もかからずいいなと思いました。もちろん車いすを固定する時には席をはずしますが、日本のバスと固定の仕方が違い、前と後ろにベルトで固定をしていて、シートベルトはありませんでした。運転手さんも固定に慣れているのか手早かったです。しっかりと固定してあるのか車いすが動く事はなく、これも日本よりいいなと感じました。アラモアナショッピングセンター（4階建てのお店がたくさん入っている所）で4時位まで買い物を満喫して、帰りのバスを待っていたら行きと同じ運転手さんだったので、降りるバス停も分かってくれ安心でした。

夕方ホテルから近い別のホテルの「マジックオブポリネシアショー」を見に行きました。食事をしてからダンスやマジックショーを割と近くの席から見る事ができました。人が消えたり物が消えたり次から次へと違うマジックを見せてくれたのですが、何回見てもトリックが分かりませんでした。とても不思議で楽しめました。

3月4日(金)

オプションツアー「リムジンカーで半日観光」。リムジンカーに乗れるので、娘とワクワクしてホテルの前で車が来るのを待っていました。やはりすごく長くてびっくりしました。中は思ったほど広くはありませんでしたが。街で

は観光用なのか？リムジンカーがあちこちで走っていました。初めにあの「この木なんの木、気になる木～」という日立のCMでお馴染みの「日立の木」を見ました。この木がある庭は私有地なのだそうですが、すごく広い庭で何本も大きな木がありました。やはり大きい！次に「パールハーバー」の見学です。岸に浮かんでいる潜水艦をながめて車に戻りました。最後にアロハタワーの最上階の展望デッキへ上り、きれいな海やワイキキの街を眺めました。

ホテルに戻り午後から買い物のため娘達とホテルの近くのお店をブラブラしました。夜は10時までお店が開いていて、街には人がたくさん歩いていました。歩道には至る所でパフォーマンスをしている人がいて賑やかでした。私と娘は目当てのバッグが日本より安く買えたので大満足。やっぱり買い物って楽しい！

3月5日(土)

朝食をすませ荷物をまとめてリフトバスで空港へ行きました。13:30発の飛行機で帰国。8時間30分の予定。

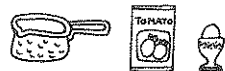
3月6日(日)

17:50到着。主人が迎えに来てくれました。家に着くとやっぱり日本が落ち着くと思いました。

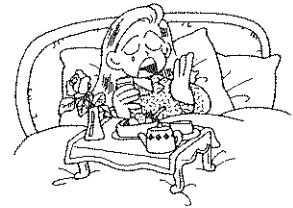
感想

ハワイに行く前は、行った人からハワイはいいよーと聞いていたので、ワクワクしていましたが、私は日本の方が食べる物がおいしいし住みやすいと感じました。帰って来てから1週間は毎日納豆とお味噌汁とごはんを食べていました。一番びっくりしたのは、車いす用のトイレ。必ず一般のトイレの中に一つは広い所があるのですが、手すりが背中側の壁に1つと横の壁に1つの組み合わせになっていて、とても使いにくいと思いました。

外国の人は不便では



ないのかな？街で車いすを利用している人に会ったら絶対トイレの使い勝手を聞いてみようと思



っていたのですが、残念ながら車いすを利用している人には出会えませんでした。

街全体はバリアフリーになっていて、だいたいどの店も入る事ができます。トイレも特に手すりを気にしないのならどこに行っても車いす用があるので心配はいりません。気候は春という事でそんなに暑くなく気持ちよかったです。長袖を着ていても汗が流れる程でもなくからっとしてしていました。どこの店もクーラーがすごく利いていて寒いくらいでした。どこに行ってもだいたい日本語が通じるし、日本人が多いのであまり外国にいる感じがしませんが、言葉には困りませんでした。ハワイは、きれいな海とホテルからのきれいな夜景そして買い物が楽しめる所でした。

.....

■旅行会社

チックトラベルセンター ハートTOハート事業部
名古屋市中区錦1-20-19名神ビル6F
株式会社チックトラベルセンター
TEL 052-222-7611 FAX 052-222-1223

■旅行代金

一人163,000円（別途渡航手続き手数料2,100円、現地空港税4,300円、中部国際空港利用料2,500円）

■宿泊ホテル

シェラトン・プリンセス・カイウラニ

■オプションツアー代金

シーライフ・パークと
ハナウマ湾半日観光
一人100ドル／豪華客
船でのフルコースとク
ルージング 一人120
ドル／リムジンカーで
半日観光 一人40ドル



小島家ウルルンタイ在記(後編)

みなさんこんにちは。私は脳性マヒで電動車いすを使用、家では大蔵省を務めている小島万智です。私の家族は、同じような障害を持ち、平日は「仕事の鬼」のように働く主人と、障害を持っていない、力が有り余っている5才の息子の3人家族です。こんな家族ですが、去年は小島家にとって、ちょっとやさそとでは体験できなかったことがありました。それでは小島家ウルルンタイ在記後編のはじまり、はじまりー！



いよいよ本番！

最終日、朝5時に起床。(タイでも真っ暗) 急いで帰国する準備をして、6時に朝食。ここまでは完璧だったんですが、レストランに向かう途中で息子がつまらないことでごねてしまったのです。お父さんが犠牲になり、一生懸命なだめていたのですが、集合時間が迫ってきて仕方なく朝食をお持ち帰りにしてもらい、リフトバスに乗り込みました。(そりゃあごねたくもなるわなあ。大人だってゆっくり寝ていたかったもんね)

なんとか息子の機嫌も治まってバスが向かった先は前日に行ったショッピングセンターでした。前日とはうって変わって大きな舞台が設置され、出店も出されていてちょっとしたお祭りムードでした。



ここがマラソンの出発点？やはり言葉が分からないので状況もつかめず、どの国の参加者がいるのかも分かりませんでした。後から国旗で調べてみると、日本、ラオス、インドネシア、マレーシア、タイ、カンボジアの6カ国でした。

ハンディマラソンだ！？

そして誘導されるがままに「こっちこっち」と言われて移動した場所はどうやらマラソンのスタート地点だったらしい。

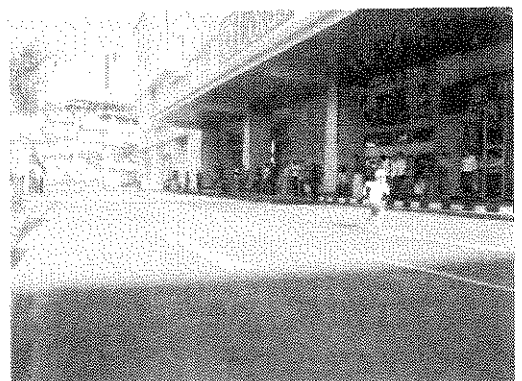
旦那「どうやらここがスタートみたいだな」

私「どこまで走るんだろうね」

ピストルの合図でスタート、しばらくすると

旦那「あれっ！ みんなあそこで止まっているぞ！！」

私「まさか、あそこがゴール！！」



ちょうどショッピングセンターの端から端まで、30メートルあったかなかったか？私たちはこの30メートルのためにはるばるタイまで来たのです。（はっきり言って腰が抜けたのでした）

この後、男性と女性に分かれてこのハンディマラソン（？）を走りました。男性の選手は結構たくさんいたので旦那が一番ビリでしたが、女性の方は私を入れて3人しかいなかったため、どんなに遅くても3位には入賞するはずです。お陰で立派なトロフィーをもらって帰りました。ちなみに息子は2回走って2回ともずば抜けていました。一応健常児なので息子は例外でしたが、快く参加させてもらえましたよ。



ハンディマラソン（？）が終わると今度は視覚障害者のための「スイカ割り」ならぬ「カメラ割り」？？？3メートルほど先にタコつほのようなカメラが置いてあり、それを棒で思い切り割るという競技。その後は片足義足の人のための「いす取りゲーム」と言うように、何ともユーモアでのどかな競技が繰り広げられていました。

その後表彰式があり、しばらくステージのイベントを見ていたんですが、やっぱり言葉が分からなくてボーツとしていました。その日も気温33度くらいかな、でも日陰に入っていると長時間でも外にいられます。名古屋みたいに蒸し暑くないからね（名古屋ってどんなとこや）

タイのおもちゃ

それからショッピングセンターでお昼を食べることになり、やっとタイ料理から解放されて息子の大好きなラーメン屋さんに入ることが出来ました。そこはチェーン店だったので、名古屋の「SUGAKIYA（すがきや）」のように普通のラーメンが食べられました。そう言えば”8番らーめん”って日本語で書いてあったし、メニューとかも日本語でも書いてありましたよ。

息子はやっと満足したかのように次のおねだりをし始めました。「ねえ、オモチャが買いたいよ」（万国共通なのねえ）早速おもちゃ売り場に連れてってもらい、息子は目を輝かせながら何にするか迷っていると、しばらくしてレゴブロックを抱えて戻って来ました。「タイまで行ってレゴかい！」とも思いましたが、800パーツ（日本円にして2400円弱）と、日本で買えば3000円くらいかな？得した気分だったので許可いたしました。でも、タイのお土産の中で息子のお土産が一番高かったと言うのもどうかしらね（ため息）

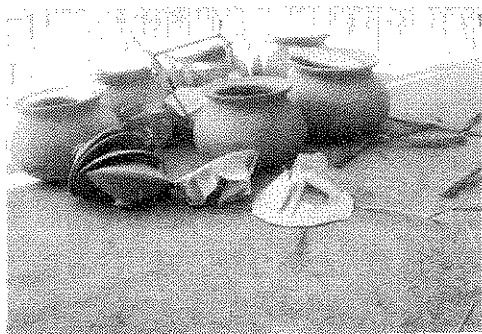
お別れ、そして、出国

そしてしばらくショッピングセンターの中をうろついて、最後の夕食の時間に。とうとう和食が恋しくなり、日本食のレストランに入ろうとしたんですが、そのレストランはタイの人たちで凄く込み合っていました。しばらく粘ってみたのですが、帰りの飛行機の時間もあるので、結局またお昼と同じラーメン屋さんに入ることになりました。実は今年の11月時点ではタイ発日本行きの方が、夜中の1時10分発しかなく、出発時間の2時間前までには空港に着いてなければいけなかったのです。行きの名古屋空港でもそうでしたが、出発前にセキュリティーチェックと出国審査に加え、電動車いすから空港用の車いすへの乗り換えと、揮発性の危険のあるバッテリーのフラグを外すといった準備があるからです。

ですから、タイの身障者協会の人たちとはそのショッピングセンターでお別れとなりました。言葉が全然分からなくて、交流があまり出来なかったのが残念でしたが、一生懸命のおもてなしに感謝しつつ、2005年は愛知万博なので日本に遊びに来ると言うことで、その時に是非またお会いしましょうと約束を交わして、お名残惜しくお別れしました。

そして夜10時頃バンコク国際空港まで送ってもらい、最後まで私たちを見送ってくれた通訳のお姉さんは、この3日間で息子のとりこになってしまいました。もう、可愛くて可愛くて仕方が無いという感じですね。「彼氏はいらないけど、子供は欲しい」という台詞を言わせたくらいですもん。本当に子供は言葉なんか無くてもコミュニケーションが取れるんだと、息子がとても羨ましかったです。

こうしてタイの長い長い最終日が終わり、飛行機に乗り込みましたが、冷房が凄く効いていて寒くて凍えそうなくらいでした。飛行機が動き出したのが夜中の1時過ぎだというのに、機内放送の挨拶で「おはようございます」だったのがなんともおかしい気分でした。でも、取りあえず私たちは「おやすみなさい」と言うことで、すぐにみんな眠りについてしまいました。タイから日本までは気流の関係で4時間30分ほどで到着です。日本時間の朝8時15分頃、無事帰国することが出来ました。



家族の思い出

その後AJU自立の家に帰国の報告をして、わが家に帰ってきたのはお昼頃。息子はタイで買ってきたブロックでしばらく遊んでいました

が、やはり疲れて3人とも溶けるように眠りました。帰国後の2、3日は、日本では比較的暖かかったのですが、常夏から一気に常冬になったようで、寒さが身にこたえてました。そして約1ヶ月後に起きたスマトラ沖地震の津波はとてもショッキングに思えました。私たちが行ったのはバンコク市内だけでしたが、時期が重なっていたらと思うと人ごととは思えませんでした。

そんなこんなで振って沸いたような出来事、私にとっては初めての海外旅行が「タイ王国」と言うのも衝撃的でしたが、異国の地を踏むことが出来たと言うこと、そして何より家族3人で海外へ行けたと言うことはなかなか経験できることではありません。息子が大きくなってこの「家族の思い出」を覚えていてくれたら良いなあと思います。

アジア障害者支援プロジェクトにご協力を!

- ◆目的
広くアジア地区において、車いすを送る活動を柱とし、障害者リーダーの育成、障害者運動をDPI日本会議とDPIアジア太平洋ブロックとの協同により推し進めて行く。
- ◆内容
年1~2回の車いす輸送支援。障害者リーダー、車いす技術者の支援。日本で行われる障害者リーダー、車いす技術者育成におけるサポート、推薦、紹介を行う。など
- ◆問い合わせ
アジア障害者支援プロジェクト事務局
名古屋市昭和区恵方町2-15 AJU自立の家
TEL : (052) 841-5554 FAX : (052)841-2221
- ◆送金先
●銀行振込 名古屋銀行桜山支店 普通3360175
アジア障害者支援プロジェクト 代表山田昭義
●郵便振込 口座番号 00820-2-12912
加入者名 愛の実行運動事務局
http://www.aju-cil.com/aid-asian_disabled/index.html

春の定番！いちご狩り

こんにちは。さつきです。私は脳性まひで電動車いす利用者です。3月2日（水）、くれよんBOX（名古屋市昭和区）のメンバーで、恒例のいちご狩りに行って来ました。最近では車いす用トイレがあるところが多く、事前に調べさえすれば、安心して出かけられるようになってきました。みなさんも「いちご狩り」いかがですか？（くれよんBOXとは、本誌の編集委員が中心となり作った小規模作業所で私も所属しています）



スケジュール

10:30 くれよんBOX出発
 11:30 『ジョイフルファーム鶉の池』到着
 12:20 出発
 13:00 ランチタイム 『潮鷺』到着
 14:30 出発
 15:00 休憩 『鯛祭りひろば』到着
 16:00 出発
 17:30 くれよんBOX到着

『ジョイフルファーム鶉の池』

くれよんBOXから車いす利用者5人を含め、13人（車4台）で出発。名古屋高速、知多半島道路を南下。美浜インターを降りて、5分ほどで『ジョイフルファーム鶉の池』に到着。

車いすの駐車場があり、広かったです。事前に

予約していたので、すぐに案内されました。いちごハウスまでは舗装されていて、中に入ると



真っ赤ないちごがいっぱいで、通路も広くて車いすで自由に動くことができました。

一列全部制覇するぞ！？

30分間の食べ放題なのですが、ハウスひとつ貸し切りのような状態でした。練乳と食べ終わったいちごのへたを入れるごみ袋をもらい、みんな散らばって、黙々と食べ始めました。

水耕栽培でいちごの台の高さが私の顔と同じ高さであり、いちごが取りやすかったです。いちごの品種は「女峰」で、甘くみずみずしい感じがして、いくつでも食べられました。



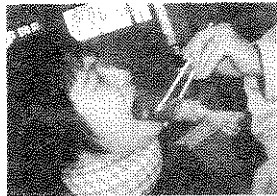
一緒に行ったご近所のおばあちゃんは「一列全部制覇するぞ」という勢いで、ごみ袋がいっぱいになるくらいたくさん食べていました。私も負けないくらい食べようと思いましたが、取り始めた時は焦っていちごが下に落ちてしまい、食べることができなかったのですが、何個か取ってコツがつかめたという感じでした。

あっという間の30分だった気がしますが、最後まで残って食べていたのは女性陣だけでした。

「まるは潮蔵」へ

お土産を買ったり、トイレを済ませて、ジョイフルファームを後にして、次の目的地に向けて車に乗りました。知多半島道路を再び南下。豊丘インターを降りて3分くらいした山の中にあるお店『まるは潮蔵』に到着。いちごをたくさん食べたのにラ

ンチタイム。ここは巨大エビフライで有名な「まるは食堂」



の姉妹店で、海

鮮料理がおいしいということでした。なぜかお店の前で記念撮影。

事前にランチを予約していたので、料理の準備はできていました。

このお店の自慢はやはりエビフライ。私はエビが好きなので、とても楽しみにしていました。



揚げたての大きいエビフライが出てきたので、熱い熱いと言いながら、プリプリのエビフライをほおばり、もう感激しました。他にも新鮮な刺身や海鮮サラダ、お味噌汁、ご飯などがあり、食後に飲み物がありました。とてもおいしかったです。

身障トイレがあったこともうれしかったです。トイレはきれいで使いやすかったです。

「鯛祭りひろば」へ

みんなお腹いっぱいになったので、最後の目的地の鯛祭りひろばに行くことにしました。『鯛祭りひろば』は豊丘インターのすぐ近くにあります。えびせんの工場があり見学ができます。えびせんは60種類ほどあり、えびせんべいの試食もできます。またコーヒーやお茶が無料で飲めます。ひものなどのお土産物もあります。私はお腹いっぱいなのに、せんべいを試食してコーヒーをもらって飲みました。みんなもお土産を買ったり、せんべいを食べたり、工場を見学していました。

帰りは豊丘インターから、知多半島道路で名古屋方面に向かい、無事くれよんBOXに到着しました。

感想

今回は、車いすで利用できる「いちご狩り」の場所や食事の場所がみつからず、直前までインターネットで探してやっと見つかりました。せっかくだから新しい場所へ行きたかったのです。当日のスケジュールは時間に余裕があり、とても良かったと思います。いちご、エビフライ、えびせんべいと知多の食を満喫し、とても楽しかったです。来年も、またどこか別のところを探して行きたいなと思います。年々、車いすで行ける場所が増えてきているような気がします。これから暖かくなる季節なので、みなさんもぜひ、出かけてみてください。

今回のおでかけテーマ

『ジョイフルファーム鶴の池』

高さ1.3メートルの栽培容器でいちごを作っているので、車いすに座ったままいちご狩りを楽しめる。30分食べ放題、事前予約制（2週間前より電話予約受付）

料 金：身障割引あり

(障害者1,000円、介助者1,200円)

期 間：5月末日まで

場 所：愛知県知多郡

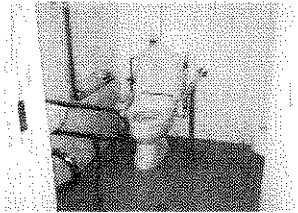
美浜町大字上野間字中

新田10

アクセス：南知多道路

美浜インターから車で5分

TEL・FAX 0569-87-6080 <http://joyful-f.jp/>



和食・活魚料理『まるは潮蔵』

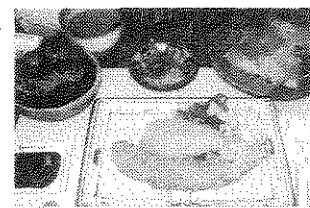
営 業：10：30～14：30、

16：30～20：00

ランチ 平日のみ

1260円～

場 所：愛知県知多郡南



知多町大字豊浜字棕田22-6

TEL：0569-65-3700

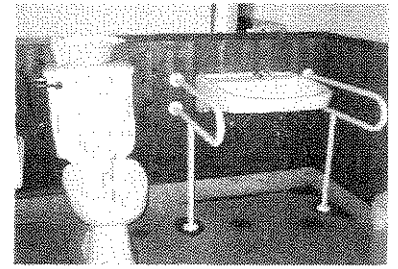
定休日：火曜日

アクセス：南知多道路

豊丘インターから車で

3分

駐車場：一般40台



『えびせん市場鯛祭りひろば』

知多郡南知多町大字豊丘字駒帰34-24

TEL：0569-65-0323

定休日：無休

駐車場：100台

大鯛みこしの実物が展示してあります。大型マルチビジョンで祭りの様子を放映。

アクセス：南知多道路豊丘インターから車ですぐ

東海地方の車いすで楽しめるいちご狩り農園

名 前	住 所	TEL・FAX
いちごの里 http://www.1115.jp/index.cgi	愛知県知多郡南知多町内海字奥鈴ヶ谷40-1	TEL 0569-62-1115 FAX 0569-62-1519
南知多グリーンバレイ http://www.gv15.com/	愛知県知多郡南知多町内海打越22-1	TEL 0569-62-1851
マリモファーム http://www3.ocn.ne.jp/~marimof/	愛知県知多郡阿久比町植大東矢勝7-1	TEL 0569-49-2117
ハッピー農園(いちご狩り) http://www.ja-matsusaka.or.jp/	三重県松阪市伊勢寺町595-1	TEL 0598-58-1845 FAX 0598-58-3080
ウエストパーク松坂の「ハッピー農園」	三重県松阪市伊勢寺町595-1	TEL 0598-58-1845
長沢いちご団地 http://www6.ocn.ne.jp/%7EAgotoku/	三重県志摩市阿児町神明2034	TEL 0599-43-4799 FAX 0599-46-1132
玉城ふれあい農園	三重県度会郡玉城町勝田5240	TEL 0596-58-8205 FAX 0596-58-4494
サンサンファーム	静岡県小笠郡大須賀町大淵1456-312	TEL 0537-48-6368 FAX 0537-48-6378
萩原農園 http://www.hagiwara-farm.com/	静岡県清水市増270	TEL 0543-36-4040 FAX 0543-36-4040
フロンティアファーム	静岡県浜松市都田町3888-6	TEL・FAX 053-428-1583
赤ずきんちゃんのおもしろ農園 http://www2.wbs.ne.jp/~akazukin	静岡県小笠郡大須賀町大淵3130	TEL 0537-48-4158 FAX 0537-48-6350
まるよし農園 http://www.h4.dion.ne.jp/~maruyosh/	静岡県静岡市根古屋85	TEL・FAX 054-237-221
苺華園(ばいかえん) http://www.h4.dion.ne.jp/~baikaen/itigo.htm	静岡県静岡市清水増240	TEL 0543-34-4930 TEL 0543-35-1116 FAX 0543-36-3488
伊那みはらしファーム「みはらしいちご農園」 http://www.janis.or.jp/ja/ka/miina/	長野県伊那市西箕輪羽広3447	TEL 0265-74-7430 FAX 0265-74-7883

* ハウス内はバリアフリーですが、車いすトイレがないところもあります。事前に情報収集をお願いします。

* 行かれた方はぜひ感想をお聞かせ下さい。もっと他にもあるよ！という方は、ぜひ教えて下さい。

* 「いちご農園」「車いす」「バリアフリー」というキーワードでインターネット検索すれば、他にも全国各地の情報が出てきます。

「展示品」としての来館客

堤 剋喜

にぎやかな、ご一行がやって来た。

「この絵、いくらぐらいするんだろ？」

「結構するんじゃないの。額縁だけでも。」「年代物だものね。」

「みんな本物だし。」

最初はある種の「新鮮み」を感じた。

くへえー。こんなところで、絵の値段を堂々と話題にできる人もいるのか。>

お喋りは、当分終わりそうにない。

子どもたちが「鑑定士ごっこ」をやっているのなら、「美術館は遊び場とは違います。静かに観ましょう」と職員が誰かにたしなめられるところだけでも、17世紀の肖像画をまえに、

その値段の話をしているのは全部大人だった。下手に注意した場合、

「絵について友人同士語り合いながら、絵を観ているのだ。奇異なことはない。

どんな観点に立とうと自由だ・・・」

と言われそうだ。会場はすいていたので、順路を少し逆戻りして、先にお通し願ひ、値踏みをする声が聞こえなくなるまで待つことにした。

部屋の中央に休憩用の椅子がある。椅子と通路の間の床に何か置いてある、と思ったら、

4歳くらいの女の子が足を投げ出して座っている。

迷子にしては、あわてたり怖がったりしている様子がない。静かに座ったまま、顔だけは左右に動かす。

女の子の視線を追ってみる。

どうやら、壁に掛かった赤い花のある静物画と、通路を進んでいくお母さんを交互に見ている。

それなら納得。そうこうしているうちに、一瞬目があった。

彼女の言い分は、たぶん・・・

「私、退屈なんてしてない。ちゃんと絵を観ているわ。椅子があるからって、どうして床に座って悪いの？
うんと下から見た方がおもしろいもん。」

ここは、展示品だけを見るところではなくて、たまたま居合わせた人たちの様子を観察する場所。

観察はいつも快いとは限らないが。

駅のコンコースで呼び止められた。

「またお会いしましたね。」

こちらは相手に見覚えがない。

「どちら様で？」

「失礼。美術館でお見かけしたもので。熱心にご覧になっておられましたねえ。名古屋からお見えですか。」

「はい。」

「私も名古屋から見に来たんですが、もう少し日本画が出品されてると思ってきたのに。」「そうですか。」

「すぐ電車で？」

「いいえ。ちょっと買い物してから次の急行で帰ろうかと。」

「私はすぐ乗らないと。こちらからお引き留めしておいて、申し訳ない。」

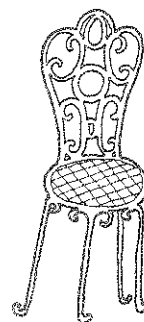
「そんなことはないです。」

「それじゃあ、お気をつけて。」

「どうも。お気をつけて。」

このご婦人にとって、僕は「印象的な展示品」だったとみえる。

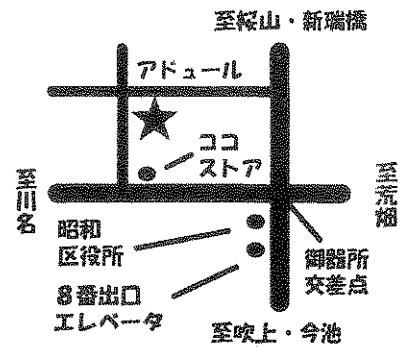
展示品の方は、自分が展示されていることに気づいていなかった。



グルメな調査隊 第38弾

名古屋市のKさんより

食材はすべて無添加、有機無農薬のものを使用。
安心でおいしい食事にこだわって作られています♪
店内は温かい家庭的な雰囲気、とても落ち着くお店でした～。



ador(アデュール)

場 所：名古屋市昭和区紅梅町3-3
TEL・FAX 052-852-7101

最寄り駅：名古屋市営地下鉄鶴舞線、桜通線「御器所駅」下車。
(エレベーターあり) 8番出口より徒歩4分

★ジャンル **和 食**
★おすすめメニュー

○ランチ 11:30～14:00 土日休み

和セット：メインの他に小鉢、椀物、ごはんが付きます。

- 塩加減おいしい鯖焼きセット 950円
- 人気ぶりの塩焼き 煮付けセット 1,050円
- サーモン(刺身用)の塩焼きセット 1,000円
- おすすめ!お刺身セット 1,210円
- ほかほかじゃこ天鍋セット 950円 など

※夜はセットに小鉢が1品プラスされます。
※ライス大盛りはプラス50円です。

○飲み物 有機ジュース 420円 有機コーヒー 430円 アルコールは各種 450円～

私は、「ころもおいしいトンカツセット」1,000円を食べました。卵を使っていない衣だけれど、サクサクしておいしかったです)

★店内の様子

出入り口/少し急なスロープあり、開き戸
店 内/段差なし、イス移動可、12席、テーブル(高さ63cm)

★車いす用トイレ なし

最寄りの車いすトイレ：御器所ステーションビル3階福祉用具プラザ内(月曜・祝日休み)、
地下鉄御器所駅コンコース内

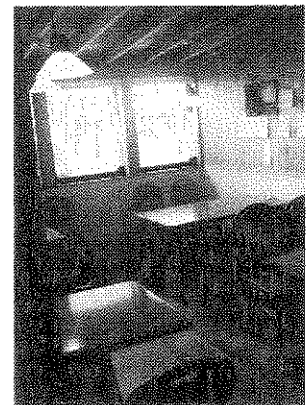
★お店の方より

卵、ミルクなどの乳製品は使用していません。有機 無添加の食材を使用して、調味料もすべて
自家製、調合も自分たちでしています。

★身障用駐車場 なし

12:00以降、18:00以降で一般用契約駐車場あり。一度お店に声をかけてください。

★営 業 11:30～14:00 17:30～21:00 定休日/木曜日



引き続き、お気に入りのお店情報をお待ちしています。
福祉情報誌発行委員会 TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159

福祉用具のリサイクル情報 (04/10現在)

欲しいもの、不要なものはありませんか？

リサイクルの輪を広げよう！

◆AJU自立の家は、なごや福祉用具プラザの中で、福祉用具のリサイクル品のコーディネートと福祉用具の販売、自立生活情報の提供などを行っています。

譲りますよ！ *金額の表示のないものは無料

★ベッド、床周り品

- ・1 モーターベッドKQ-103 ¥100,000 2年使用
- ・2 モーターベッド ¥50,000 3年少々使用
- ・2 モーターベッド ¥100,000 わずか使用
- ・エアーマット ¥30,000 2年使用
- ・床ずれマット ¥10,000 3回使用

★移動用品

- ・手動車いすリクライニング ¥5,000
- ・介助用車いす(つばさくん) ¥50,000 2回使用
- ・簡易電動車いす ¥100,000
- ・電動車いす 3~4年位使用
- ・電動車いす(レカロシート) ¥150,000 3ヶ月使用
- ・電動三輪車 ¥100,000 3ヶ月使用
- ・電動四輪車(ET4AY3K) ¥50,000 1年5ヶ月使用
- ・円形歩行器(子供用) 4年使用
- ・シルバーカー 未使用
- ・歩行補助具PCW 3~4年使用

★入浴用品

- ・シャワーいす(回転、背もたれ付き) 3ヶ月使用
- ・入浴用車いす わずか
- ・介助ベルト(入浴) ¥1,000 未使用
- ・シャワーキャリー ¥5,000 3年使用
- ・シャワーいす ¥6,000 未使用
- ・折りたたみ式自操入浴車いす ¥100,000 1回使用

★トイレ用品

- ・ポータブルトイレ家具調 数回使用

- ・トイレ用簡易手すり 半年使用
- ・据え置き式便座両用型 1ヶ月くらい使用
- ・ポータブルトイレ ¥5,000 わずか
- ・簡易昇降便座(垂直昇降タイプ) 上下に昇降 ¥20,000 1週間位使用
- ・スカットクリーン男性用 ¥20,000 数ヶ月使用

★その他

- ・木製スロープ(室内用)
高さ13cm幅90cm長さ90cm 4~5年使用
- ・ストレッチャー 3ヶ月使用
- ・木製松葉杖 2年くらい使用
- ・電動三輪自転車 5~6年使用
- ・紙おむつ各種 ¥7,000 未使用
- ・スリングシート(メッシュ) ¥7,500 数回使用
- ・ポータブル吸引機ハイミニック ¥20,000 半年



その他にも、ゆずりたい物、ゆずってほしい物の登録がたくさんあります。お気軽にご連絡下さい。

「譲って」欲しい方、「譲りたい!」という方、ぜひご連絡下さい。

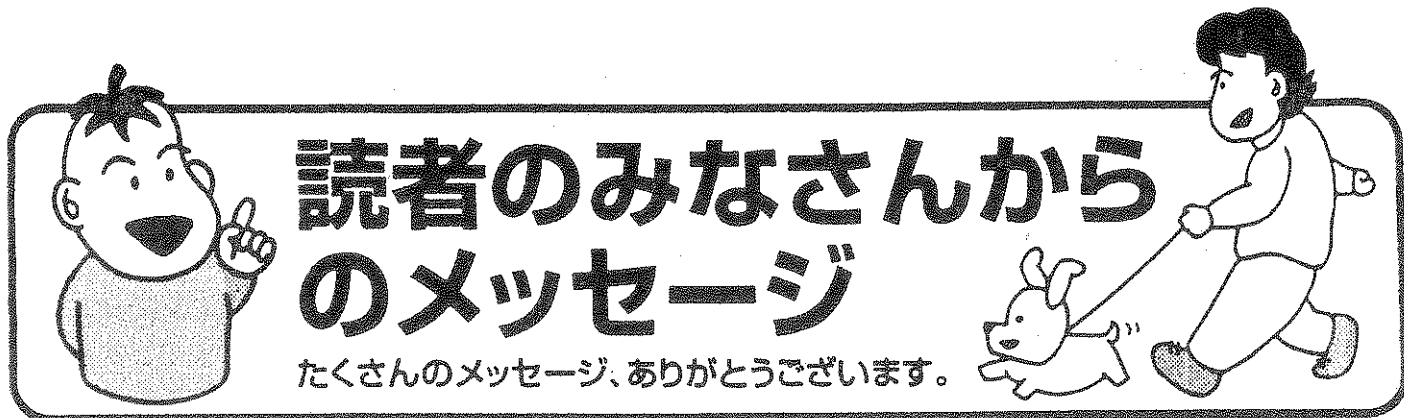
●AJUリサイクル相談事業部●

TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159

ホームページでもみることができます。

<http://www.aju-cil.com>

毎週土曜日の朝日新聞(朝刊)にも、リサイクル情報が掲載されています。



読者のみなさんから のメッセージ

たくさんのメッセージ、ありがとうございます。

● 愛知県のTさんより

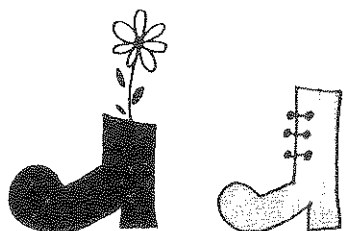
福祉情報誌は分かりやすく
て今後も続けて欲しい。レ
ジャー情報は具体的で行動
を起こすきっかけになる。
愛知万博は安心して行こう
という気持ちになり嬉しい。

● 愛媛県のHさんより

いつもありがとうございます
。県は違っていますが、
いろいろ参考になることが
たくさんあります。これか
らもよろしく願います。

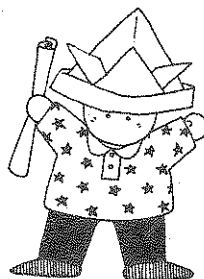
● 広島県Kさんより

支援費で改悪、医療・福祉の
遅れたこの地にいると名古
屋は恵まれているなあと思
ってしまいます。でも、こ
こで情報発信して変化して
いるように頑張りたいと思
うのですが、なかなか身体
がついて行かず・・・、情報誌
楽しみに待っています！！



● 福井県のNさんより

内容の濃い情報誌として毎
回拝読させて頂いています。
今後も厚労省などの動きを
載せて頂ける事を願ってお
ります。ますますAJUが発展
していきます事を願ってい
ます。



● 緑区のSさんより

いつも読みごたえのある情
報でとても役立っています。
私達は子育て中の親が多い
のですが、車いすOK情報は
乳母車OKと同じですね。

● 愛知県のHさんより

役に立つ情報をいつもあり
がありがとうございます。これか
らも色々な情報を提供し続
けて下さい。皆様頑張って
下さい。応援しています。

● 中川区のMさんより

編集の皆様、本当にご苦勞
様です。いろいろ情報（交
通編）鉄道に関する問題の
記事を読んで恥ずかしいで
すが知りませんでした。こ
ういう発信をどんどんして
下さい。私達の口端に乗せ
て広めます。

● 北区のOさんより

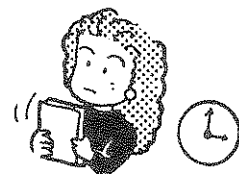
体調が悪くなくて外出もあ
まりできません。早く良
くなって遊びに行きたいです。

● 愛知県のIさんより

いつも楽しみにしています。
これからもいろんな情報を
教えて下さい。

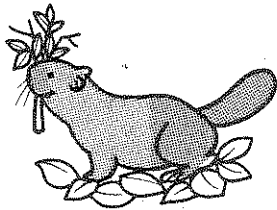
● 東京都のHさんより

万博の情報は大変役に立つ
事ばかりで有り難い。尚、
会場周辺の車いすで泊まれ
る宿の情報があれば、2,3泊
で行く予定なので。



● 岐阜県のYさんより

いつも興味深く読ませて頂いております。繊維関係（衣類）の情報もよろしく！



● 名東区のNさんより

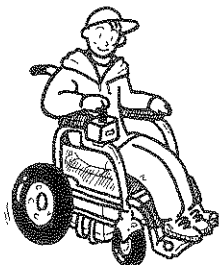
肢体不自由児の母です。息子は今春小3年生です。通常学級に在籍しているので介助員さんや母が介助しながらの学校生活です。だんだん勉強についていけなくなってきました。勉強も地域の生活も両立できる教育環境ができる事を願っています。支援費のデイサービスも知的情緒障害児中心です。肢体不自由児にあったサービスの事業所ができるといいな。

● 愛知県のKさんより

東三河の情報もよろしくお願ひします。

● 緑区のKさんより

いつもありがとうございます。現在妻を介護しています。参考になる事がいろいろとありますので助かります。



● 宮城県のMさんより

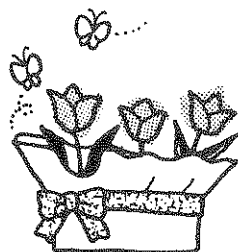
遠くから応援しています。

● 中川区のIさんより

74号の情報誌を読み、「えっ！」と思いました。医療費の1割負担？我が家にズシリときます。ほとんど毎日の様に色々な病院に通っているのにやめる訳にはいかないし、どうしよう…出来る事があつたら知らせて下さい。

● 茨城県のHさんより

毎号楽しくかつ多くの情報を頂いています。編集作業たいへんだと存じますが、頑張ってください。



● 岡崎市のIさんより

毎回楽しみに読ませていただいています。本人も大変ですが、家族もいろいろな情報や状態を知ることによって納得したり、驚くことがあります。外から気づかされたり、教えられたりすることが多々あります。いろいろな情報を待っています。

● 千種区のHさんより

大変勉強になります。ありがとうございます。

● 港区のAさんより

東海大地震に対しての避難方法や体力のない人や重度の人が持って運べる非常用の事が知りたい。

● 愛知県のMさんより

緊張緩和のストレッチ（リハビリ他動）を受けているが、合う（きく）先生と合わない（きかない）先生がある。怪我などの場合のリハビリと慢性（私はCP）の人のリハビリ（ストレッチ）は違うのか、きく担当の先生をつかまえるのには、どうしたら良いか。薬以外の緊張緩和はないのか。

● 愛知県のHさんより

でっちゃんのご主人の森さんはその後どうでしょうか？お元気ですか？また、近況を教えて欲しいです。

お便り

おかげさまでございました。

編集委員一同、読者の皆様のお便りにいつもパワーをいただいております。引き続き、ご支援、お便り、情報などをお待ちしております。ありがとうございます。

〒466-0015

昭和区御器所通3-12-1 3F

AJU福祉情報誌編集部宛

TEL052-851-0059

FAX052-851-0159

愛知県コロニーのその後の経過

あり方調査研究会議が1月31日に開催され、中間まとめが報告されました。愛知県コロニーのホームページ内容が紹介されています。あり方調査研究会議の検討状況について
<http://www.pref.aichi.jp/hsc/topic/hokoku/hokoku.html>

なごやニューススポット サンシャインサカエ情報

地下鉄東山線栄駅コンコースを通り、8番出口（一番奥）から、サンシャインサカエの地下1階につながっていました。

8番出口は、ゆるやかなスロープになっています。出口を出ると吹き抜けのようになっていて、エレベータが2機あり、それに乗ると楽しい世界へ。車いすトイレは3階にあります。



街の中に出現！観覧車(スカイポート)は3階

乗り場までは緩やかなスロープになっています。観覧車のかごは床から40cmぐらいの段差がありますが、床面に埋め込んだ段差解消機がういっい～



んと上下してスムーズに楽々乗り込むことができました。カゴが近づくと係員の方が観覧車を一時停止させます。(カゴはどれも車いす乗車可)ただ、中で方向転換することは難しいです。入り口とかごの中の幅は約74cm。頂上に近づいてくると、タワーズが左手に見えます。カゴがスケルトンなので真下に道路と小さくなった車や人がたくさん見えて、外から見た時より高く上がっている感じがします。夜は夜景が楽しめそうです。

○営業 10:00～23:00

- 料金 1回500円（身障者手帳提示で介助者のみ1名まで無料／小学生以下無料）
- 乗車人数 4人乗り（車いす利用者は1名まで、その場合同行者も1名）
- 乗車時間 一周10分

昭和30年代にタイムスリップ、7つのお店がひしめく「名古屋麺屋横町」は2階

どのお店もそんなに広くはないけれど、段差はなく、イス可動のテーブル席あり。利用した店のみ紹介します。



○営業時間 11:00～23:00

★函館『ずん・どう』

テーブルは横幅が狭く、荷物置きが付いているので足は入りませんでした。(手動車いす使用)けれどお店の人は親切で、テーブルの高さを雑誌などでなんとか上げようとしてくれました。感謝～！ここはあっさり系のラーメンのお店ということで、超あっさりの『70年代』という塩ラーメンを注文しました。具として細く切った玉ネギを油で揚げたものが入っていて、ビックリ！意外に、こってり？でした。

★博多『秀ら～』

テーブルは荷物置きが付いているのでやはり足は入りませんでした。お店の方はとても親切でした。細麺でとてもこってりの豚骨ラーメン。ニンニクを自分でつぶして入れることもできます。

その他のフロア

4階は「愛され上手な名古屋嬢ワールド」という愛称？のファッションフロア。5、6階は飲食店がたくさん入っています。地下1階には身障用駐車場（1台分）があります。そこが開いていない場合は、立体駐車場に車を入れる手伝いもできるとのことです。

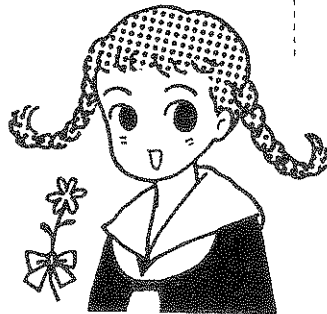
TEL 052-310-2211

場所：名古屋市中区錦3-24-4

http://www.s-sa.jp/modules/ssa_home/

名大祭ツアーへのお誘い

東海地区で最大規模の大学祭である名大祭に「障害を持つ人にも気軽に参加してもらおう」という企画です。当日は、会場での行動が容易になるように、大学生のボランティアさんがサポートしてくれます。みなさん出かけてみませんか？



日程：6月4日（土）、5日（日）のいずれか（現時点でどちらの日かはまだ決まっていない）
時間：12:00～17:00
対象：公共交通機関を利用して名古屋大学まで来ることのできる肢体不自由の障害をもつ方
費用：参加費は無料。名大祭をまわって頂く上で食事等は実費。

申し込み期間：4月21日から5月10日まで

募集人数：20名程度

備考：5月14日（土）と5月22日（日）に行うツアー説明会とボランティアとの顔合わせに必ず出席していただきます。どちらかの日時に参加していただければ結構です。

申し込み方法：AJU自立の家に置く申し込み用紙（FAXで送付可）か名大祭の公式HPであるメイダイサイトドットコムにて応募。

問い合わせ先：名大祭 TEL/FAX:052-789-5178

URL:<http://meidaisai.com>

AJU自立の家 担当森

TEL052-841-5554 FAX052-841-2221

冊子の紹介

04年版あいちのグループホーム

（痴呆対応型共同生活介護）

人にやさしい街づくり名古屋地域ネットワークグループホーム部会が毎年調査して発行しているもので、昨年10月末現在愛知県下に開設されている218ホームのうち、調査に協力して下

さった189ホームの情報が収録されています。

『あいちのグループホーム2004年度版』

尾張・三河版 2,000円（送料400円）

購入希望者の方は下記にて

★郵送希望の方

事務局の名古屋女子大学家政学部中研究室（FAX 052-852-7470）へ、「氏名」「住所」「電話」「希望冊数」明記してご注文ください。

★直接販売場所

なごや福祉用具プラザ（名古屋市昭和区御器所）内 AJUリサイクル相談コーナー（TEL052-851-0059 FAX 052-851-0159）

いまわが町の介護老人施設は

～あいちの特養・老健・有料老人ホーム一覧～

今年2月26日に刊行された6冊目になるこの冊子は、愛知県内の特別養護老人ホーム（149施設）、老人保健施設（123施設）、有料老人ホーム（特定施設34施設）に郵送、直接訪問調査して、その結果がまとめられています。また、付録として「冊子利用便利箋」がついており、愛知県内を11エリアに分けて、調査した施設が検索できるように工夫されています。

料金は、制作協力費として1000円となっています。

★郵送希望の方

お申し込みは、ファックスかハガキで「サークル福寿草」まで。

〒464-0075 名古屋市千種区内山1-9-5

TEL 052-741-2913 FAX 052-741-1002

★直接販売場所

なごや福祉用具プラザ（名古屋市昭和区御器所）内 AJUリサイクル相談コーナー（TEL052-851-0059 FAX 052-851-0159）

医療相談室

長年、診療機関で障害を持つ仲間の医療ケアに携わってみたい「リハビリテーション医の万歳登茂子先生」のご協力で開設。

＜相談日＞ 5月7日、21日、6月4日、11日
いつでも土曜日、予約制、30分程度
時間は要相談

＜対象＞ 障害を持っている人

＜費用＞ 無料

＜受付＞ 自立生活情報センター

TEL 052-841-6677
FAX 052-841-6622
E-mail : johoc@aju-cil.com

＜場所＞

名古屋市昭和区恵方町2-15
(社福)AJU自立の家
サマリアハウス内相談室



生活の道具相談室

障害当事者、福祉、医療関係者が有志で開設。
道具の導入相談、道具の工夫や制作に対応。

＜相談日＞ 5月7日、21日、6月4日、18日
いつでも土曜日の午後1:30～

*事前にご連絡をいただくとスムーズです

＜費用＞ 無料

＜受付＞ サマリアハウス 浅井

TEL 052-841-5554 FAX052-841-2221

＜場所＞ 名古屋市昭和区恵方町2-15
(社福)AJU自立の家サマリアハウス内

やさしい住まいの支援ネット

障害当事者、福祉、医療、建築関係者が有志
で開設し、住宅の改造などの相談に対応。

＜相談日＞ 生活の道具相談室と同じ

＜費用＞ 無料(訪問時は交通費実費必要)

*受付、場所は生活の道具相談室と同じ

編集後記

今、愛知が熱い。全国から注目されている？2月の中部国際空港「セントレア」の開港。旅行者より見学のひとでごった返し、旅行者が肩身を狭めてひそやかに手続きを……。空港利用を誰もが使いやすいように整備をすすめた空港である。おっと、その前に「南セントレア市」の一騒動。市民の反対で白紙に戻った。名古屋城の金の鯨が舞い降りて、浮かれ雀が踊りだす。それはもうお祭りだ。ワッショイワッショイ。春の選抜高校野球では愛工大明電の優勝。感動を伝える青春の一コマである。そして、21世紀初の万博。愛知万博。愛・地球博は誰もが楽しく多くない障害を持った人も“エイヤツ”との思いで出かけて欲しい。楽しい感動との出会いがあることでしょう……。愛知県がやたらとにぎやかな。でも、この秋には我々が望まない障害者施策が固まるうとしていることも忘れてはいけない。 鬼頭

AJUグループの行事のお知らせ

◎5月15日(日) 自立の家15周年創立記念日

ご支援ありがとうございます。社会福祉法人AJU自立の家も、設立以来15周年を迎えることができました。

◎5月29日(日) わだちまつり

時間：午前11時～午後2時

場所：昭和区恵方町2-15 自立の家

主な催し物(予定)：ピンゴ大会、軽食・飲み物、マジックショー、バザーなど

問い合わせ：(社福)AJU自立の家

TEL052-841-5554 FAX052-841-2221

AJU 福祉情報誌購読者募集中！！

隔月発行

年間購読料 1,500 円

振込先：郵便局 00890-0-90573

加入者名：福祉情報誌発行委員会